

踏切道安全通行カルテ

更新日：令和4年12月末

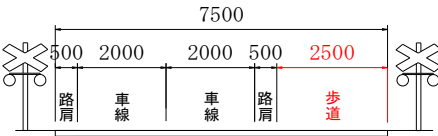
よみがな	なかむらみち	所在地	京都府城陽市市辺五島7番22先		
踏切道名	中村道	道路名	市道401号線	道路管理者名	城陽市
		鉄道路線名	奈良線	鉄道事業者名	西日本旅客鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	13		左道路	0.0	4.2	0.0	
	横断本数(本)	1		踏切道	0.0	3.7	0.0	
	交差角(度)	46		右道路	0.0	3.9	0.0	
	道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	曲線		自動車	両方共なし	-	
	交通規制	大型車の通行禁止			歩行者	迂回路なし (200m以内)	-	
	車両進入防護柵等	設置していない			バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-	
	歩車道分離方法	なし		バリアリ化 状況	-	DID地区	-	
	踏切 保安 設備	賢い踏切	-		踏切支障報知 装置(手動)	○		
高規格保安設備		障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故 防止対策設備	総研式舗装版			
特性	通学路指定状況 (学校指定)	○		通学路交通安全 プログラム	○			
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上 重要物流道路上	-			
自動車交通量 (台/日)	2,417		歩行者等交通量 (人/日)	1,618	鉄道交通量 (本/日)	136		

基準算定データ							R3年9月末時点		
ピーク時遮断時間(分)	12	前後歩道との 幅員差(m)	0.0	踏切内の 事故発生 状況	事故別	件数	死者数	地域 課題	通学路指定されており歩道整備必要
A. 踏切自動車交通遮断 量(台・時)	7,251	AとBの和	12,105		踏切 事故	0	0		
B. 踏切歩行者等交通遮 断量(人・時)	4,854				道路交 通事故	0	0		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭陰踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切	
-	-	-	-	○	-	-	

法指定の状況					R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準 (踏切道改良促進法施行規則)				
R3.4.13 (現法)	第2条第9号 (通学路要対策踏切)	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	事業中	○	-	R4	R4	
	対策内容					
	・歩道設置 (R4~)					
	事業完了年度	対策の効果等				
-	-					
除却年度	-					
-	-					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	はぐらぎ2ごう	所在地	大阪府泉佐野市東羽倉崎上町1丁目4-29先		
踏切道名	羽倉崎2号	道路名	府道日根野羽倉崎線	道路管理者名	大阪府
		鉄道路線名	南海本線	鉄道事業者名	南海電気鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	19.2		左道路	0.0	7.3	1.7	
	横断本数(本)	4		踏切道	0.6	7.0	0.6	
	交差角(度)	78		右道路	0.0	6.2	1.0	
	道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	直線		自動車	両方共有り	438	
	交通規制	交通規制なし		歩行者	迂回路なし (200m以内)	-		
	車両進入防護柵等	設置していない		バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-		
	歩車道分離方法	白線・黄線		バリアリ化 状況	-	DID地区	○	
	踏切 保安 設備	賢い踏切	○		踏切支障報知 装置(手動)	○		
高規格保安設備		障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故 防止対策設備	接続軌道			
特性	通学路指定状況 (学校指定)	-		通学路交通安全 プログラム	-			
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上 重要物流道路上	-			
自動車交通量 (台/日)	6,257		歩行者等交通量 (人/日)	809	鉄道交通量 (本/日)	325		

基準算定データ							R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	16	前後歩道との 幅員差(m)	-1.1	踏切内の 事故発生 状況	事故別	件数	死者数	地域 課題
A. 踏切自動車交通遮断 量(台・時)	25,655	AとBの和	28,972		踏切 事故	0	0	
B. 踏切歩行者等交通遮断 量(人・時)	3,317				道路交 通事故	0	0	

カルテ踏切の基準						R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切
-	-	-	-	-	-	-

法指定の状況					R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)				
R3.4.13(現法)	第2条第10号 (高齢者等対策踏切)	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	検討中	-	-	-	-	
	対策内容					
	-					
	事業完了年度	対策の効果等				
-	-					
除却年度						
-						

地域課題踏切カルテ

更新日：令和4年12月末

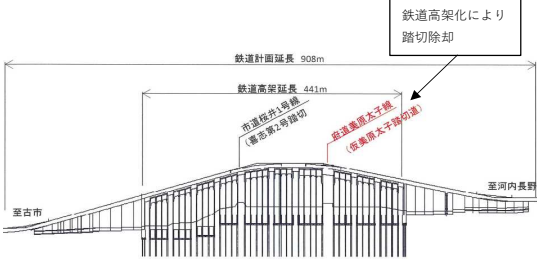
よみがな	かりみはらたいしせん	所在地	大阪府富田林市粟ヶ池町2952-1他		
踏切道名	仮美原太子線	道路名	府道美原太子線	道路管理者名	大阪府
		鉄道路線名	長野線	鉄道事業者名	近畿日本鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
 	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	10.9		左道路	3.0	10.0	3.0	
	横断本数(本)	2		踏切道	3.0	10.0	3.0	
	交差角(度)	83	右道路	3.0	10.0	3.0		
	道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
	交通規制	交通規制なし		歩行者	迂回路なし (200m以内)	-		
	車両進入防護柵等	設置していない		バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-		
	歩車道分離方法	コンクリートブロック		バリアリ化 状況	-	DID地区	-	
	踏切 保安 設備	賢い踏切		-		踏切支障報知 装置(手動)		-
高規格保安設備		-		高齢者等の事故 防止対策設備		-		
特性	通学路指定状況 (学校指定)		-		通学路交通安全 プログラム		-	
	バリアフリー法に 基づく特定道路上		-		緊急輸送道路上 重要物流道路上		緊2次	
自動車交通量 (台/日)	10,646		歩行者等交通量 (人/日)	75		鉄道交通量 (本/日)	-	

基準算定データ							R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	14	前後歩道との 幅員差(m)	0.0	踏切内の 事故発生 状況	事故別	件数	死者数	地域 課題 渋滞が発生しており、緊急車両等の通行にも支障 をきたしている。
A. 踏切自動車交通遮断 量(台・時)	29,809	AとBの和	30,019		踏切 事故	0	0	
B. 踏切歩行者等交通遮 断量(人・時)	210				道路交 通事故	0	0	

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準 (踏切道改良促進法施行規則)					
R3.4.13 (現法)	第2条第12号 (地域課題踏切)	-	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	事業中	-	R3	H9	H28	
	対策内容					
	<ul style="list-style-type: none"> 鉄道高架化 (H28~) 踏切接続道路の「視覚障害者誘導用ブロック」設置 (R4) 					
	事業完了年度	対策の効果等				
-						
除却年度						
-						

地域課題踏切カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	かわちながの1ごう	所在地	大阪府河内長野市本町29先		
踏切道名	河内長野1号	道路名	市道長野遊園地河合寺線	道路管理者名	河内長野市
		鉄道路線名	高野線	鉄道事業者名	南海電気鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
  <small>国土地理院電子国土web</small>	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	17.6		左道路	0.0	3.7	0.0	
	横断本数(本)	4		踏切道	1.3	3.7	0.0	
	交差角(度)	90	右道路	2.0	5.0	0.0		
	道路線形	左道路	曲線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	曲線		自動車	両方共有り	315	
	交通規制	交通規制なし		歩行者	駅構内自由通路	22		
	車両進入防護柵等	設置していない		バリアリ化	跨線橋	22		
	歩車道分離方法	白線・黄線		バリアリ化 状況	両側にエレベータ等	DID地区	○	
	踏切 保安 設備	賢い踏切	○		踏切支障報知 装置(手動)	○		
高規格保安設備		障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故 防止対策設備	接続軌道			
特性	通学路指定状況 (学校指定)	○		通学路交通安全 プログラム	-			
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	○		緊急輸送道路上 重要物流道路上	-			
自動車交通量 (台/日)	581		歩行者等交通量 (人/日)	2,254	鉄道交通量 (本/日)	273		

基準算定データ							R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	18	前後歩道との 幅員差(m)	-0.7	踏切内の 事故発生 状況	事故別	件数	死者数	地域 課題
A. 踏切自動車交通遮断 量(台・時)	2,382	AとBの和	11,623		踏切 事故	0	0	
B. 踏切歩行者等交通遮断 量(人・時)	9,241				道路交 通事故	1	0	

カルテ踏切の基準						R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切
-	-	-	-	-	-	-

法指定の状況					R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)				
R3.4.13(現法)	第2条第10号 (高齢者等対策踏切)	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	検討中	-	-	-	-	
	対策内容					
	-					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-					
除却年度						
-						

地域課題踏切カルテ

更新日：令和4年12月末

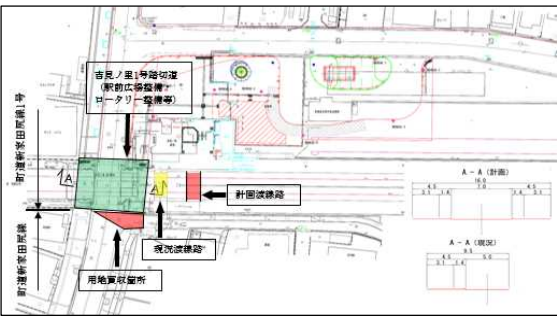
よみがな	よしみのさと1ごう	所在地	大阪府泉南郡田尻町吉見611先		
踏切道名	吉見ノ里1号	道路名	町道新家田尻線1号	道路管理者名	田尻町
		鉄道路線名	南海本線	鉄道事業者名	南海電気鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長 (m)	8.7		左道路	4.5	7.0	4.5	
	横断本数 (本)	2		踏切道	0.0	5.0	3.0	
	交差角 (度)	84	右道路	0.0	7.0	4.5		
	道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離 (m)	
		右道路	直線		自動車	両方共有り	423	
	交通規制	交通規制なし		歩行者	迂回路なし (200m以内)	-		
	車両進入防護柵等	設置していない		バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-		
	歩車道分離方法	終点方 コンクリートブロック		バリアリ化 状況	-	DID地区	○	
	踏切 保安 設備	賢い踏切	○		踏切支障報知 装置 (手動)	○		
高規格保安設備		障害物検知装置 (光式)		高齢者等の事故 防止対策設備	接続軌道			
特性	通学路指定状況 (学校指定)	○		通学路交通安全 プログラム	-			
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上 重要物流道路上	-			
自動車交通量 (台/日)	-		歩行者等交通量 (人/日)	-	鉄道交通量 (本/日)	288		

基準算定データ							R3年9月末時点		
ピーク時遮断時間 (分)	16	前後歩道との 幅員差 (m)	-4.5	踏切内の 事故発生 状況	事故別	件数	死者数	地域 課題	踏切内で自動車と歩行者が輻輳 交通事故の発生の危険性がある
A. 踏切自動車交通遮断 量 (台・時)	-	AとBの和	-		踏切 事故	0	0		
B. 踏切歩行者等交通遮断 量 (人・時)	-				道路交 通事故	0	0		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点	
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切		
-	-	-	-	-	-	-		

法指定の状況					R4年12月末時点	
法指定年月日	指定に係る基準 (踏切道改良促進法施行規則)					
R3.4.13 (現法)	第2条第12号 (地域課題踏切)	-	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	事業中	-	R3	R4	R4	
	対策内容					
	<ul style="list-style-type: none"> 踏切道内における片側歩道を両側歩道に改良：片側歩道 (4.5m) を両側歩道 (4.5m*2) に拡幅 踏切道内における車道幅員の拡幅 (現況幅員5.0mを7.0mに拡幅) 					
	事業完了年度	対策の効果等				
-						
除却年度	-					
-						

地域課題踏切カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	はこつくり18ごう	所在地	大阪府泉南郡岬町淡輪912-3先		
踏切道名	箱作18号	道路名	府道淡輪停車場線	道路管理者名	大阪府
		鉄道路線名	南海本線	鉄道事業者名	南海電気鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	9.1		左道路	0.0	6.0	0.0	
	横断本数(本)	2		踏切道	0.0	6.0	0.0	
	交差角(度)	75		右道路	0.0	6.0	0.0	
	道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	直線		自動車	起点寄有り	79	
	交通規制	交通規制なし		歩行者	こ線橋	79		
	車両進入防護柵等	設置していない		バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-		
	歩車道分離方法	なし		バリアリ化 状況	-	DID地区	○	
	踏切 保安 設備	賢い踏切	○		踏切支障報知 装置(手動)	○		
		高規格保安設備	障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故 防止対策設備	-		
	特性	通学路指定状況 (学校指定)	○		通学路交通安全 プログラム	○		
バリアフリー法に 基づく特定道路上		-		緊急輸送道路上 重要物流道路上	-			
自動車交通量 (台/日)	3,892		歩行者等交通量 (人/日)	1,424	鉄道交通量 (本/日)	272		

基準算定データ							R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	13	前後歩道との 幅員差(m)	0.0	踏切内の 事故発生 状況	事故別	件数	死者数	地域 課題 鉄道付近にある小学校の通学路に指定されてお り、多くの児童が踏切を横断しているが、歩道が なく、自動車や自転車と輻輳し、危険な状態であ る。
A. 踏切自動車交通遮断 量(台・時)	12,454	AとBの和	17,011		踏切 事故	0	0	
B. 踏切歩行者等交通遮 断量(人・時)	4,557				道路交 通事故	0	0	

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭危険踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況					R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)				
R3.4.13(現法)	第2条第10号 (高齢者等対策踏切) R3.4.13(現法)	第2条第12号 (地域課題踏切) R4.12.16(現法)	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	事業中	-	-	R3	-	
	対策内容					
	構造改良(踏切拡幅)					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-					
除却年度	-					
-						

地域課題踏切カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	こやすば	所在地	兵庫県神戸市北区鈴蘭台南町7-2		
踏切道名	子安場	道路名	市道鈴蘭台4号線	道路管理者名	神戸市
		鉄道路線名	有馬線	鉄道事業者名	神戸電鉄

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	11.2		左道路	0.0	4.0	0.0	
	横断本数(本)	3		踏切道	0.0	4.0	0.0	
	交差角(度)	90		右道路	0.0	4.0	0.0	
	道路線形	左道路	曲線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	曲線		自動車	両方共なし	-	
	交通規制	大型車の通行禁止		歩行者	地下道	195		
	車両進入防護柵等	ポール類を設置している		バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-		
	歩車道分離方法	なし		バリアリ化 状況	-	DID地区	-	
	踏切 保安 設備	賢い踏切	-		踏切支障報知 装置(手動)		-	
高規格保安設備		-		高齢者等の事故 防止対策設備		-		
特性	通学路指定状況 (学校指定)	-		通学路交通安全 プログラム				
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上 重要物流道路上				
自動車交通量 (台/日)	0		歩行者等交通量 (人/日)	456	鉄道交通量 (本/日)	362		

基準算定データ							R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	34	前後歩道との 幅員差(m)	0.0	踏切内の 事故発生 状況	事故別	件数	死者数	地域 課題
A. 踏切自動車交通遮断 量(台・時)	0	AとBの和	2,782		踏切 事故	0	0	
B. 踏切歩行者等交通遮 断量(人・時)	2,782				道路交 通事故	0	0	

カルテ踏切の基準						R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭危険踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切
-	-	-	-	-	-	-

法指定の状況					R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)				
R3.4.13(現法)	第2条第10号 (高齢者等対策踏切)	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	対策完了	○	-	R3	R3	
	対策内容					
	非常押しボタン (R3)					
	事業完了年度	対策の効果等				
R3	-					
除却年度						
-						

地域課題踏切カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	しょうぶなか	所在地	兵庫県加古川市平岡町土山字勝負881-3		
踏切道名	勝負中	道路名	市道土山20号線	道路管理者名	加古川市
		鉄道路線名	山陽線	鉄道事業者名	西日本旅客鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
<p>詳細</p>  <p>広域</p>  <p>国土地理院電子国土web</p>	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	8.7		左道路	0.0	8.6	0.0	
	横断本数(本)	2		踏切道	0.0	6.0	0.0	
	交差角(度)	81	右道路	0.9	4.0	0.9		
	道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	直線		自動車	起点寄有り	450	
	交通規制	交通規制なし		歩行者	迂回路なし (200m以内)	-		
	車両進入防護柵等	設置していない		バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-		
	歩車道分離方法	なし		バリアリ化 状況	-	DID地区	○	
	踏切 保安 設備	賢い踏切	○		踏切支障報知 装置(手動)	○		
		高規格保安設備	障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故 防止対策設備	-		
	特性	通学路指定状況 (学校指定)	-		通学路交通安全 プログラム	-		
バリアフリー法に 基づく特定道路上		-		緊急輸送道路上 重要物流道路上	-			
自動車交通量 (台/日)	973		歩行者等交通量 (人/日)	345	鉄道交通量 (本/日)	412		

基準算定データ							R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	33	前後歩道との 幅員差(m)	-0.9	踏切内の 事故発生 状況	事故別	件数	死者数	地域 課題 踏切が前後の道路より狭く、事故発生の危険性がある。
A. 踏切自動車交通遮断 量(台・時)	6,422	AとBの和	8,699		踏切 事故	0	0	
B. 踏切歩行者等交通遮 断量(人・時)	2,277				道路交 通事故	0	0	

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点	
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭陰踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切		
-	-	-	-	-	-	-		

法指定の状況					R4年12月末時点	
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R3.4.13(現法)	第2条第12号 (地域課題踏切)	-	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	検討中	-	-	R2(着工準備)	-	
	対策内容					
	・連続立体交差(着工準備R2~)					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-					
除却年度	-					
-						

地域課題踏切カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	しょうぶした	所在地	兵庫県加古川市平岡町土山字勝負853-2		
踏切道名	勝負下	道路名	市道高畑土山線	道路管理者名	加古川市
		鉄道路線名	山陽線	鉄道事業者名	西日本旅客鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
<p>詳細 広域</p> <p>国土地理院電子国土web</p>	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長 (m)	9.6		左道路	2.0	5.5	0.5	
	横断本数 (本)	2		踏切道	2.0	6.0	0.0	
	交差角 (度)	69	右道路	2.0	5.3	0.0		
	道路線形	左道路	曲線	迂回路	種類	有無等	距離 (m)	
		右道路	曲線		自動車	両方共なし	-	
	交通規制	交通規制なし		歩行者	迂回路なし (200m以内)	-		
	車両進入防護柵等	設置していない		バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-		
	歩車道分離方法	コンクリートブロック		バリアリ化状況	-	DID地区	○	
	踏切保安設備	賢い踏切	○		踏切支障報知装置 (手動)	○		
		高規格保安設備	障害物検知装置 (光式)		高齢者等の事故防止対策設備	-		
	特性	通学路指定状況 (学校指定)	-		通学路交通安全プログラム	-		
バリアフリー法に基づく特定道路上		-		緊急輸送道路上重要物流道路上	-			
自動車交通量 (台/日)	3,865	歩行者等交通量 (人/日)	1,326	鉄道交通量 (本/日)	412			

基準算定データ							R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間 (分)	38	前後歩道との幅員差 (m)	-0.5	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題 自動車と歩行者が輻輳し、事故発生の危険性がある。
A. 踏切自動車交通遮断量 (台・時)	30,147	AとBの和	40,490		踏切事故	0	0	
B. 踏切歩行者等交通遮断量 (人・時)	10,343				道路交通事故	0	0	

カルテ踏切の基準						R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭陰踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切
-	-	-	-	-	-	-

法指定の状況					R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準 (踏切道改良促進法施行規則)				
R3.4.13 (現法)	第2条第12号 (地域課題踏切)	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	検討中	-	-	R2 (着工準備)	-	
	対策内容					
	・連続立体交差 (着工準備R2~)					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-	-				
除却年度						
-						

地域課題踏切カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	ばばださん	所在地	兵庫県加古川市平岡町高畑字馬場田686-3		
踏切道名	馬場田三	道路名	市道高畑5号線	道路管理者名	加古川市
		鉄道路線名	山陽線	鉄道事業者名	西日本旅客鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等						R3年9月末時点	
<p>詳細</p>  <p>広域</p> <p>国土地理院電子国土web</p> 	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)		
	踏切長(m)	9.7		左道路	0.0	5.2	0.0		
	横断本数(本)	2		踏切道	0.0	2.8	0.0		
	交差角(度)	74	右道路	0.0	5.0	0.0			
	道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)		
		右道路	直線		自動車	両方共なし	-		
	交通規制	交通規制なし		迂回路	歩行者	迂回路なし (200m以内)	-		
	車両進入防護柵等	設置していない			バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-		
	歩車道分離方法	なし		迂回路	バリアリ化 状況	-	DID地区	○	
	踏切 保安 設備	賢い踏切	-		踏切支障報知 装置(手動)	○			
高規格保安設備		障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故 防止対策設備	-				
特性	通学路指定状況 (学校指定)	-		通学路交通安全 プログラム	-				
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上 重要物流道路上	-				
自動車交通量 (台/日)	356		歩行者等交通量 (人/日)	796	鉄道交通量 (本/日)	412			

基準算定データ								R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	32	前後歩道との 幅員差(m)	0.0	踏切内の 事故発生 状況	事故別	件数	死者数	地域 課題	踏切内で車両がすれ違えないことから、渋滞が発生する
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	2,564	AとBの和	8,295		踏切事故	0	0		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	5,731				道路交通事故	0	0		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭陰踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R3.4.13(現法)	第2条第12号 (地域課題踏切)	-	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	検討中	-	-	R2(着工準備)	-	
	対策内容					
	・連続立体交差(着工準備R2~)					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-					
除却年度	-					
-						

踏切道安全通行カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	ちやうがばやしひがし	所在地	兵庫県加古川市平岡町高畑字長林820-4		
踏切道名	長ヶ林東	道路名	野谷平岡線	道路管理者名	兵庫県
		鉄道路線名	山陽線	鉄道事業者名	西日本旅客鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	9.1		左道路	0.0	5.5	0.0	
	横断本数(本)	2		踏切道	0.0	6.0	0.0	
	交差角(度)	90	右道路	0.0	6.5	0.0		
	道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	直線		自動車	両方共有り	1300	
	交通規制	交通規制なし		歩行者	迂回路なし (200m以内)	-		
	車両進入防護柵等	設置していない		バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-		
	歩車道分離方法	なし		バリアリ化 状況	-	DID地区	○	
	踏切 保安 設備	賢い踏切	-		踏切支障報知 装置(手動)	○		
高規格保安設備		障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故 防止対策設備	総研式舗装版			
特性	通学路指定状況 (学校指定)	-		通学路交通安全 プログラム	-			
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上 重要物流道路上	-			
自動車交通量 (台/日)	10,724	歩行者等交通量 (人/日)	475	鉄道交通量 (本/日)	412			

基準算定データ							R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	30	前後歩道との 幅員差(m)	0.0	踏切内の 事故発生 状況	事故別	件数	死者数	地域 課題
A. 踏切自動車交通遮断 量(台・時)	73,996	AとBの和	77,273		踏切 事故	0	0	
B. 踏切歩行者等交通遮 断量(人・時)	3,278				道路交 通事故	0	0	

カルテ踏切の基準						R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭陰踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切
-	○	-	-	-	-	-

法指定の状況					R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準 (踏切道改良促進法施行規則)				
R3.4.13 (現法)	第2条第1号 (自動車ボトルネック踏切)	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	検討中	-	-	R2 (着工準備)	-	
	対策内容					
	<ul style="list-style-type: none"> ・カラー舗装 (H26) ・連続立体交差 (着工準備R2~) 					
	事業完了年度	対策の効果等				
-						
除却年度	-					
-						

地域課題踏切カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	おおわりかみ	所在地	兵庫県加古川市平岡町西谷字大割26-2		
踏切道名	大割上	道路名	市道西谷和田線	道路管理者名	加古川市
		鉄道路線名	山陽線	鉄道事業者名	西日本旅客鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
 	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	9.4		左道路	0.5	6.5	2.0	
	横断本数(本)	2		踏切道	0.0	6.5	2.2	
	交差角(度)	65	右道路	0.5	6.5	2.0		
	道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
	交通規制	交通規制なし		歩行者	迂回路なし (200m以内)	-		
	車両進入防護柵等	設置していない		バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-		
	歩車道分離方法	コンクリートブロック		バリアリ化 状況	-	DID地区	○	
	踏切 保安 設備	賢い踏切	-		踏切支障報知 装置(手動)	○		
高規格保安設備		障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故 防止対策設備	-			
特性	通学路指定状況 (学校指定)	-		通学路交通安全 プログラム	-			
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上 重要物流道路上	-			
自動車交通量 (台/日)	4,070		歩行者等交通量 (人/日)	1,434	鉄道交通量 (本/日)	412		

基準算定データ							R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	37	前後歩道との 幅員差(m)	-0.5	踏切内の 事故発生 状況	事故別	件数	死者数	地域 課題 自動車と歩行者が輻輳し、事故発生 の危険性がある。
A. 踏切自動車交通遮断 量(台・時)	33,374	AとBの和	45,133		踏切 事故	0	0	
B. 踏切歩行者等交通遮断 量(人・時)	11,759				道路交 通事故	0	0	

カルテ踏切の基準						R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切
-	-	-	-	-	-	-

法指定の状況					R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)				
R3.4.13(現法)	第2条第12号 (地域課題踏切)	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	検討中	-	-	R2(着工準備)	-	
	対策内容					
	・連続立体交差(着工準備R2~)					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-	-				
除却年度	-					
-	-					

踏切道安全通行カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	かみどていち	所在地	兵庫県加古川市平岡町新在家字上戸手1567-8		
踏切道名	上土堤一	道路名	新在家野辻線	道路管理者名	加古川市
		鉄道路線名	山陽線	鉄道事業者名	西日本旅客鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
 <p>詳細 東加古川駅 広域</p> <p>国土地理院電子国土web</p> 	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	16.5		左道路	0.0	6.9	0.0	
	横断本数(本)	3		踏切道	0.0	6.6	0.0	
	交差角(度)	90	右道路	0.0	6.8	0.0		
	道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	直線		自動車	両方共有り	1100	
	交通規制	交通規制なし		歩行者	駅構内自由通路		180	
	車両進入防護柵等	設置していない			バリアリ化	駅構内自由通路		180
	歩車道分離方法	なし		バリアリ化状況		両側にエレベータ等		DID地区
	踏切保安設備	賢い踏切	-		踏切支障報知装置(手動)		○	
高規格保安設備		オーバーハング型警報装置、障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故防止対策設備		-		
特性	通学路指定状況(学校指定)	-		通学路交通安全プログラム		-		
	バリアフリー法に基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上重要物流道路上		-		
自動車交通量(台/日)	5,484		歩行者等交通量(人/日)	3,754		鉄道交通量(本/日)	412	

基準算定データ							R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	43	前後歩道との幅員差(m)	0.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題 交通渋滞が発生しているため踏切改良が必要
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	49,356	AとBの和	83,142		踏切事故	0	0	
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	33,786				道路交通事故	1	0	

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
○	-	○	-	-	-	-	

法指定の状況					R4年12月末時点	
法指定年月日	指定に係る基準 (踏切道改良促進法施行規則)					
R3.4.13 (現法)	第2条第2号 (歩行者ボトルネック踏切)	第2条第3号 (開かずの踏切)	第2条第8号 (事故多発踏切)	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	検討中	-	-	R2 (着工準備)	-	
	対策内容					
	<ul style="list-style-type: none"> ・注意看板 (H28) ・連続立体交差 (着工準備R2~) 					
	事業完了年度	対策の効果等				
-						
除却年度	-					
-						

踏切道安全通行カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	ひろはたひがし	所在地	兵庫県加古川市平岡町新在家字広畑823-2		
踏切道名	広畑東	道路名	新在家区画道路12号線	道路管理者名	加古川市
		鉄道路線名	山陽線	鉄道事業者名	西日本旅客鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
<p>詳細</p>  <p>広域</p>  <p>国土地理院電子国土web</p>	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	13		左道路	0.0	5.7	1.5	
	横断本数(本)	3		踏切道	0.0	6.0	1.5	
	交差角(度)	90	右道路	0.0	5.8	1.5		
	道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	直線		自動車	両方共有り	650	
	交通規制	交通規制なし		歩行者	迂回路なし (200m以内)	-		
	車両進入防護柵等	設置していない		バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-		
	歩車道分離方法	白線、黄線		バリアリ化 状況	-	DID地区	○	
	踏切 保安 設備	賢い踏切	-		踏切支障報知 装置(手動)	○		
高規格保安設備		障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故 防止対策設備	-			
特性	通学路指定状況 (学校指定)	-		通学路交通安全 プログラム	-			
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上 重要物流道路上	-			
自動車交通量 (台/日)	5,271		歩行者等交通量 (人/日)	2,801	鉄道交通量 (本/日)	412		

基準算定データ							R3年9月末時点		
ピーク時遮断時間(分)	36	前後歩道との 幅員差(m)	0.0	踏切内の 事故発生 状況	事故別	件数	死者数	地域 課題	
A. 踏切自動車交通遮断 量(台・時)	39,533	AとBの和	60,541		踏切 事故	0	0		-
B. 踏切歩行者等交通遮 断量(人・時)	21,008				道路交 通事故	0	0		

カルテ踏切の基準						R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭陰踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切
-	-	○	-	-	-	-

法指定の状況					R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準 (踏切道改良促進法施行規則)				
R3.4.13 (現法)	第2条第2号 (歩行者ボトルネック踏切)	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	検討中	-	-	R2 (着工準備)	-	
	対策内容					
	・連続立体交差 (着工準備R2~)					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-	-				
除却年度	-					
-	-					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	みやひがしだいいち	所在地	兵庫県加古川市野口町野口字大坪305-9		
踏切道名	宮東第一	道路名	市道野口18号線	道路管理者名	加古川市
		鉄道路線名	山陽線	鉄道事業者名	西日本旅客鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
<p>詳細</p>  <p>広域</p>  <p>国土地理院電子国土web</p>	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	10.2		左道路	1.7	6.9	1.7	
	横断本数(本)	2		踏切道	2.5	5.0	0.0	
	交差角(度)	77	右道路	2.5	5.0	0.0		
	道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
	交通規制	交通規制なし		歩行者	迂回路なし (200m以内)	-		
	車両進入防護柵等	設置していない		バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-		
	歩車道分離方法	コンクリートブロック		バリアリ化 状況	-	DID地区	○	
	踏切 保安 設備	賢い踏切	○		踏切支障報知 装置(手動)	○		
高規格保安設備		オーバーハング型警報装置 障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故 防止対策設備	-			
特性	通学路指定状況 (学校指定)	-		通学路交通安全 プログラム	-			
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上 重要物流道路上	-			
自動車交通量 (台/日)	1,729		歩行者等交通量 (人/日)	1,419	鉄道交通量 (本/日)	412		

基準算定データ							R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	35	前後歩道との 幅員差(m)	-1.7	踏切内の 事故発生 状況	事故別	件数	死者数	地域 課題 自動車と歩行者が輻輳し、事故発生 の危険性がある。
A. 踏切自動車交通遮断 量(台・時)	12,968	AとBの和	23,611		踏切 事故	0	0	
B. 踏切歩行者等交通遮断 量(人・時)	10,643				道路交 通事故	0	0	

カルテ踏切の基準						R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭危険踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切
-	-	-	-	-	-	-

法指定の状況					R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)				
R3.4.13(現法)	第2条第12号 (地域課題踏切)	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	検討中	-	-	R2(着工準備)	-	
	対策内容					
	・連続立体交差(着工準備R2~)					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-	-				
除却年度	-					
-	-					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和4年12月末

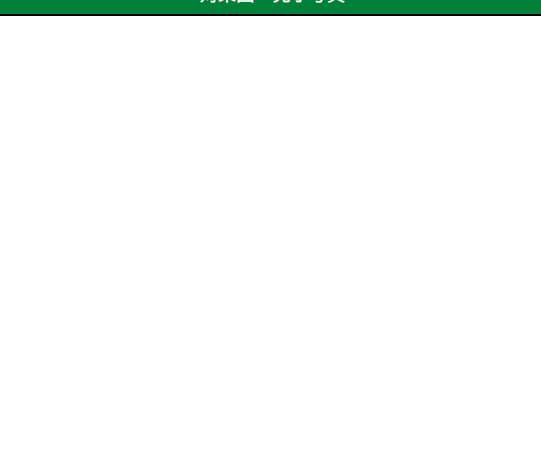
よみがな	ひらの	所在地	兵庫県川西市平野1丁目279-6番		
踏切道名	平野	道路名	市道1434号	道路管理者名	川西市
		鉄道路線名	妙見線	鉄道事業者名	能勢電鉄

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	10.6		左道路	0.0	6.0	0.0	
	横断本数(本)	3		踏切道	0.0	6.0	0.0	
	交差角(度)	90		右道路	0.0	6.0	0.0	
	道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	曲線		自動車	両方共なし	-	
	交通規制	交通規制なし			歩行者	跨線橋	30	
	車両進入防護柵等	設置していない			バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-	
	歩車道分離方法	なし		バリアリ化 状況	-	DID地区	○	
	踏切 保安 設備	賢い踏切	○		踏切支障報知 装置(手動)	-		
高規格保安設備		障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故 防止対策設備	-			
特性	通学路指定状況 (学校指定)	-		通学路交通安全 プログラム	-			
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	○		緊急輸送道路上 重要物流道路上	-			
自動車交通量 (台/日)	757		歩行者等交通量 (人/日)	291	鉄道交通量 (本/日)	264		

基準算定データ							R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	31	前後歩道との 幅員差(m)	0.0	踏切内の 事故発生 状況	事故別	件数	死者数	地域 課題
A. 踏切自動車交通遮断 量(台・時)	4,706	AとBの和	6,515		踏切 事故	0	0	
B. 踏切歩行者等交通遮断 量(人・時)	1,809				道路交 通事故	0	0	

カルテ踏切の基準						R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭陰踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切
-	-	-	-	-	-	-



法指定の状況					R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)				
R3.4.13(現法)	第2条第10号 (高齢者等対策踏切)	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	事業中	-	-	R3	R3	
	対策内容					
	非常押しボタン					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-	-				
除却年度	-					
-	-					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	むこがわがん	所在地	兵庫県三田市中町15-18		
踏切道名	武庫川左岸	道路名	市道広瀬相生線	道路管理者名	三田市
		鉄道路線名	三田線	鉄道事業者名	神戸電鉄

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
 	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	10		左道路	0.0	3.8	0.0	
	横断本数(本)	2		踏切道	0.0	4.0	0.0	
	交差角(度)	83	右道路	0.0	3.5	0.0		
	道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
	交通規制	大型車の通行禁止		歩行者	その他	70		
	車両進入防護柵等	設置していない		バリアリ化	迂回路なし (200m以内)		-	
	歩車道分離方法	なし		バリアリ化 状況	-	DID地区	-	
	踏切 保安 設備	賢い踏切	-		踏切支障報知 装置(手動)		-	
高規格保安設備		障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故 防止対策設備		-		
特性	通学路指定状況 (学校指定)	-		通学路交通安全 プログラム		-		
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上 重要物流道路上		-		
自動車交通量 (台/日)	1,010		歩行者等交通量 (人/日)	19	鉄道交通量 (本/日)	318		

基準算定データ							R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	19	前後歩道との 幅員差(m)	0.0	踏切内の 事故発生 状況	事故別	件数	死者数	地域 課題
A. 踏切自動車交通遮断 量(台・時)	5,454	AとBの和	5,557		踏切 事故	0	0	
B. 踏切歩行者等交通遮断 量(人・時)	103				道路交 通事故	0	0	

カルテ踏切の基準						R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭危険踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切
-	-	-	-	-	-	-

法指定の状況					R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)				
R3.4.13(現法)	第2条第10号 (高齢者等対策踏切)	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点
 	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	対策完了	-	-	R3	R3	
	対策内容					
	非常押しボタン(R3)					
	事業完了年度	対策の効果等				
R3	-					
除却年度	-					
-	-					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	ひがしまつえ2ごう	所在地	和歌山県和歌山市松江中2丁目5-60先		
踏切道名	東松江2号	道路名	市道松江4号線	道路管理者名	和歌山市
		鉄道路線名	加太線	鉄道事業者名	南海電気鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長 (m)	5.2		左道路	0.0	5.5	0.0	
	横断本数 (本)	1		踏切道	0.0	6.0	0.0	
	交差角 (度)	90	右道路	2.2	7.0	0.0		
	道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離 (m)	
		右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
	交通規制	交通規制なし		歩行者	迂回路なし (200m以内)	-		
	車両進入防護柵等	設置していない		バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-		
	歩車道分離方法	なし		バリアリ化状況	-	DID地区	○	
	踏切保安設備	賢い踏切	-		踏切支障報知装置 (手動)	-		
高規格保安設備		-		高齢者等の事故防止対策設備	接続軌道			
特性	通学路指定状況 (学校指定)	○		通学路交通安全プログラム	-			
	バリアフリー法に基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上重要物流道路上	-			
自動車交通量 (台/日)	-		歩行者等交通量 (人/日)	-	鉄道交通量 (本/日)	98		

基準算定データ							R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間 (分)	6	前後歩道との幅員差 (m)	-2.2	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題
A. 踏切自動車交通遮断量 (台・時)	-	AとBの和	-		踏切事故	0	0	
B. 踏切歩行者等交通遮断量 (人・時)	-				道路交通事故	0	0	

カルテ踏切の基準						R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭隘踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切
-	-	-	-	-	-	-

法指定の状況					R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準 (踏切道改良促進法施行規則)				
R3.4.13 (現法)	第2条第10号 (高齢者等対策踏切)	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	検討中	-	-	-	-	
	対策内容					
	-					
	事業完了年度	対策の効果等				
-	-					
除却年度						
-	-					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	ひがしまつえ3ごう	所在地	和歌山県和歌山市松江中3丁目1-41号		
踏切道名	東松江3号	道路名	市道中松江線	道路管理者名	和歌山市
		鉄道路線名	加太線	鉄道事業者名	南海電気鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	9.3		左道路	0.0	4.2	0.0	
	横断本数(本)	2		踏切道	0.0	2.5	0.0	
	交差角(度)	85	右道路	0.0	2.5	0.0		
	道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
	交通規制	交通規制なし		歩行者	迂回路なし (200m以内)	-		
	車両進入防護柵等	設置していない		バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-		
	歩車道分離方法	なし		バリアリ化 状況	-	DID地区	○	
	踏切 保安 設備	賢い踏切	-		踏切支障報知 装置(手動)		-	
高規格保安設備		-		高齢者等の事故 防止対策設備		-		
特性	通学路指定状況 (学校指定)	○		通学路交通安全 プログラム		-		
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上 重要物流道路上		-		
自動車交通量 (台/日)	-		歩行者等交通量 (人/日)	-		鉄道交通量 (本/日)	98	

基準算定データ							R3年9月末時点		
ピーク時遮断時間(分)	7	前後歩道との 幅員差(m)	0.0	踏切内の 事故発生 状況	事故別	件数	死者数	地域 課題	
A. 踏切自動車交通遮断 量(台・時)	-	AとBの和	-		踏切 事故	0	0		-
B. 踏切歩行者等交通遮断 量(人・時)	-				道路交 通事故	0	0		

カルテ踏切の基準						R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭陰踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切
-	-	-	-	-	-	-

法指定の状況					R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準 (踏切道改良促進法施行規則)				
R3.4.13 (現法)	第2条第10号 (高齢者等対策踏切)	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	検討中	-	-	-	-	
	対策内容					
	-					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-	-				
除却年度	-					
-	-					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	なかつえ1ごう	所在地	和歌山県和歌山市松江中3丁目3-1先		
踏切道名	中松江1号	道路名	市道松江37号線	道路管理者名	和歌山市
		鉄道路線名	加太線	鉄道事業者名	南海電気鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	8		左道路	0.0	4.0	0.0	
	横断本数(本)	2		踏切道	0.0	4.0	0.0	
	交差角(度)	74	右道路	0.0	7.2	0.0		
	道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
	交通規制	交通規制なし		歩行者	迂回路なし (200m以内)	-		
	車両進入防護柵等	設置していない		バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-		
	歩車道分離方法	なし		バリアリ化 状況	-	DID地区	○	
	踏切 保安 設備	賢い踏切	-		踏切支障報知 装置(手動)		-	
高規格保安設備		-		高齢者等の事故 防止対策設備		-		
特性	通学路指定状況 (学校指定)	○		通学路交通安全 プログラム		-		
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上 重要物流道路上		-		
自動車交通量 (台/日)	-		歩行者等交通量 (人/日)	-		鉄道交通量 (本/日)	98	

基準算定データ							R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	7	前後歩道との 幅員差(m)	0.0	踏切内の 事故発生 状況	事故別	件数	死者数	地域 課題
A. 踏切自動車交通遮断 量(台・時)	-	AとBの和	-		踏切 事故	0	0	
B. 踏切歩行者等交通遮 断量(人・時)	-				道路交 通事故	0	0	

カルテ踏切の基準						R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭隘踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切
-	-	-	-	-	-	-

法指定の状況					R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準 (踏切道改良促進法施行規則)				
R3.4.13 (現法)	第2条第10号 (高齢者等対策踏切)	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	検討中	-	-	-	-	
	対策内容					
	-					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-					
除却年度	-					
-						

地域課題踏切カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	ひがしまつえ1ごう	所在地	和歌山県和歌山市松江東4丁目6-23先		
踏切道名	東松江1号	道路名	市道松江3号線	道路管理者名	和歌山市
		鉄道路線名	加太線	鉄道事業者名	南海電気鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等						R3年9月末時点		
 	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)			
	踏切長(m)	5.5		左道路	0.0	5.5	0.0			
	横断本数(本)	1		踏切道	0.0	6.0	0.0			
	交差角(度)	90	右道路	0.0	6.4	0.0				
	道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)			
		右道路	直線		自動車	両方共なし	-			
	交通規制	交通規制なし			歩行者	迂回路なし (200m以内)	-			
	車両進入防護柵等	設置していない			バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-			
	歩車道分離方法	なし		バリアリ化 状況	-	DID地区	○			
	踏切 保安 設備	賢い踏切		-	踏切支障報知 装置(手動)		○			
高規格保安設備		障害物検知装置(光式)	高齢者等の事故 防止対策設備		接続軌道					
特性	通学路指定状況 (学校指定)		○	通学路交通安全 プログラム		-				
	バリアフリー法に 基づく特定道路上		-	緊急輸送道路上 重要物流道路上		-				
自動車交通量 (台/日)	-		歩行者等交通量 (人/日)	-		鉄道交通量 (本/日)	98			

基準算定データ								R3年9月末時点		
ピーク時遮断時間(分)	6	前後歩道との 幅員差(m)	0.0	踏切内の 事故発生 状況	事故別	件数	死者数	地域 課題	-	
A. 踏切自動車交通遮断 量(台・時)	-	AとBの和	-		踏切 事故	0	0			
B. 踏切歩行者等交通遮 断量(人・時)	-		道路交 通事故		0	0				

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭隘踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

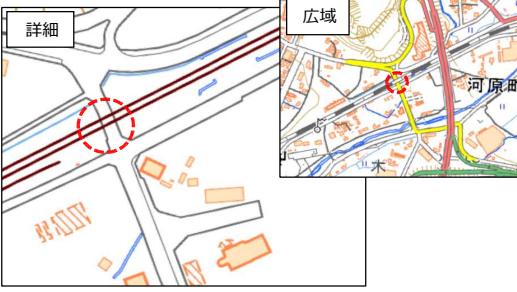

法指定の状況					R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)				
R3.4.13(現法)	第2条第10号 (高齢者等対策踏切)	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	検討中	-	-	-	-	
	対策内容					
	-					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-					
除却年度						
-						

地域課題踏切カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	よぎ	所在地	福井県敦賀市		
踏切道名	余座	道路名	県道余座若葉線	道路管理者名	福井県
		鉄道路線名	北陸本線	鉄道事業者名	西日本旅客鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
 <p>国土地理院電子国土web</p> 	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	12.3		左道路	0.0	6.0	0.0	
	横断本数(本)	2		踏切道	0.0	7.0	0.0	
	交差角(度)	82		右道路	0.0	6.0	0.0	
	道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	直線		自動車	両方共有り	150	
	交通規制	交通規制なし			歩行者	迂回路なし (200m以内)	-	
	車両進入防護柵等	-			バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-	
	歩車道分離方法	なし		バリアリ化 状況	-	DID地区	-	
	踏切 保安 設備	賢い踏切	-		踏切支障報知 装置(手動)		○	
高規格保安設備		オーバーハング型警報装置 障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故 防止対策設備		-		
特性	通学路指定状況 (学校指定)	○		通学路交通安全 プログラム		-		
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上 重要物流道路上		-		
自動車交通量 (台/日)	6,627		歩行者等交通量 (人/日)	356	鉄道交通量 (本/日)	180		

基準算定データ							R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	20	前後歩道との 幅員差(m)	0.0	踏切内の 事故発生 状況	事故別	件数	死者数	地域 課題 通学路指定されており、踏切部に歩道がなく危険 であることから歩行空間の確保が必要。
A. 踏切自動車交通遮断 量(台・時)	31,147	AとBの和	32,820		踏切 事故	1	0	
B. 踏切歩行者等交通遮 断量(人・時)	1,673				道路交 通事故	0	0	

カルテ踏切の基準						R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭隘踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切
-	-	-	-	-	-	-

法指定の状況					R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準 (踏切道改良促進法施行規則)				
R4.1.21 (現法)	第2条第12号 (地域課題踏切)	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	検討中	○	-	-	-	
	対策内容					
	-					
	事業完了年度	対策の効果等				
-						
除却年度	-					
-						

地域課題踏切カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	いしやまえきまえ	所在地	滋賀県大津市		
踏切道名	石山駅前	道路名	市道幹1047号線	道路管理者名	大津市
		鉄道路線名	石山坂本線	鉄道事業者名	京阪電気鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
<p>国土地理院電子国土web</p>	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	11		左道路	3.3	7.0	2.3	
	横断本数(本)	2		踏切道	3.5	8.0	2.5	
	交差角(度)	44	右道路	3.5	11.3	3.3		
	道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
	交通規制	交通規制なし		歩行者	跨線橋	60		
	車両進入防護柵等	-		バリアリ化	跨線橋	60		
	歩車道分離方法	白線・黄線		バリアリ化 状況	両側にエレ ベータ等	DID地区	○	
	踏切 保安 設備	賢い踏切	-		踏切支障報知 装置(手動)	-		
高規格保安設備		オーバーハング型警報装置 障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故 防止対策設備	-			
特性	通学路指定状況 (学校指定)	-		通学路交通安全 プログラム	-			
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上 重要物流道路上	-			
自動車交通量 (台/日)	3,610		歩行者等交通量 (人/日)	5,679	鉄道交通量 (本/日)	228		

基準算定データ							R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	12	前後歩道との 幅員差(m)	-0.8	踏切内の 事故発生 状況	事故別	件数	死者数	地域 課題 付近に老人福祉施設等があり、高齢者等の通行の 安全を確保する必要がある
A. 踏切自動車交通遮断 量(台・時)	9,025	AとBの和	23,222		踏切 事故	0	0	
B. 踏切歩行者等交通遮 断量(人・時)	14,197				道路交 通事故	0	0	

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭隘踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	


法指定の状況					R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)				
R4.1.21(現法)	第2条第10号 (高齢者等対策踏切)	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	検討中	-	-	-	-	
	対策内容					
	-					
	事業完了年度	対策の効果等				
-						
除却年度						
-						

地域課題踏切カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	こんやがせき	所在地	滋賀県大津市		
踏切道名	紺屋ヶ関	道路名	市道幹1037号線	道路管理者名	大津市
		鉄道路線名	石山坂本線	鉄道事業者名	京阪電気鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
 <p>国土地理院電子国土web</p>	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	7.7		左道路	5.2	16.1	5.3	
	横断本数(本)	2		踏切道	6.5	16.6	7.4	
	交差角(度)	90		右道路	4.8	18.0	4.9	
	道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
	交通規制	交通規制なし		歩行者	迂回路なし (200m以内)	-		
	車両進入防護柵等	-		バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-		
	歩車道分離方法	白線・黄線		バリアリ化 状況	-	DID地区	○	
	踏切 保安 設備	賢い踏切	-		踏切支障報知 装置(手動)	-		
		高規格保安設備	障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故 防止対策設備	-		
	特性	通学路指定状況 (学校指定)	-		通学路交通安全 プログラム	-		
バリアフリー法に 基づく特定道路上		○		緊急輸送道路上 重要物流道路上	緊2次			
自動車交通量 (台/日)	6,479		歩行者等交通量 (人/日)	2,609	鉄道交通量 (本/日)	228		

基準算定データ							R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	13	前後歩道との 幅員差(m)	2.5	踏切内の 事故発生 状況	事故別	件数	死者数	地域 課題 付近に老人福祉施設等があり、高齢者等の通行の 安全を確保する必要がある
A. 踏切自動車交通遮断 量(台・時)	16,197	AとBの和	22,719		踏切 事故	0	0	
B. 踏切歩行者等交通遮 断量(人・時)	6,522				道路交 通事故	0	0	

カルテ踏切の基準						R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭隘踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切
-	-	-	-	-	-	-

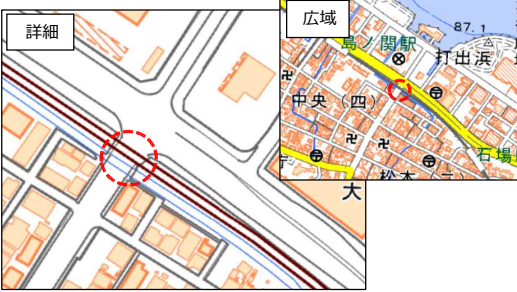
法指定の状況					R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)				
R4.1.21(現法)	第2条第10号 (高齢者等対策踏切)	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	検討中	-	-	-	-	
	対策内容					
	-					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-					
除却年度	-					
-						

地域課題踏切カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	ぶんかかんまえ	所在地	滋賀県大津市		
踏切道名	文化館前	道路名	市道幹1042号線	道路管理者名	大津市
		鉄道路線名	石山坂本線	鉄道事業者名	京阪電気鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
 <p>国土地理院電子国土web</p>	踏切種別	第1種	幅員(m)	位置	歩道部(起点寄)	車道	歩道部(終点寄)	
	踏切長(m)	8.7		左道路	1.4	13.0	1.4	
	横断本数(本)	2		踏切道	1.8	12.7	2.0	
	交差角(度)	90	右道路	5.3	7.1	4.3		
	道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
	交通規制	交通規制なし		歩行者	迂回路なし(200m以内)	-		
	車両進入防護柵等	-		バリアリ化	迂回路なし(200m以内)	-		
	歩車道分離方法	白線・黄線		バリアリ化状況	-	DID地区	○	
	踏切保安設備	賢い踏切	-		踏切支障報知装置(手動)	-		
		高規格保安設備	障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故防止対策設備	-		
	特性	通学路指定状況(学校指定)	-		通学路交通安全プログラム	-		
バリアフリー法に基づく特定道路上		○		緊急輸送道路上重要物流道路上	緊2次			
自動車交通量(台/日)	14,763	歩行者等交通量(人/日)	1,380	鉄道交通量(本/日)	228			

基準算定データ							R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	11	前後歩道との幅員差(m)	-3.5	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題 付近に老人福祉施設等があり、高齢者等の通行の安全を確保する必要がある
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	32,478	AとBの和	35,514		踏切事故	0	0	
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	3,036				道路交通事故	0	0	

カルテ踏切の基準						R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭隘踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切
-	-	-	-	-	-	-

法指定の状況					R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)				
R4.1.21(現法)	第2条第10号(高齢者等対策踏切)	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	検討中	-	-	-	-	
	対策内容					
	-					
	事業完了年度	対策の効果等				
-						
除却年度	-					
-						

地域課題踏切カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	ながらしみんせんたー	所在地	滋賀県大津市		
踏切道名	長等市民センター	道路名	市道幹1013号線	道路管理者名	大津市
		鉄道路線名	石山坂本線	鉄道事業者名	京阪電気鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
<p>国土地理院電子国土web</p>	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	7.4		左道路	4.5	7.0	4.5	
	横断本数(本)	2		踏切道	2.9	7.0	2.9	
	交差角(度)	81	右道路	4.5	7.0	4.5		
	道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
	交通規制	交通規制なし		歩行者	迂回路なし (200m以内)	-		
	車両進入防護柵等	-		バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-		
	歩車道分離方法	その他		バリアリ化 状況	-	DID地区	○	
	踏切 保安 設備	賢い踏切	-		踏切支障報知 装置(手動)	-		
		高規格保安設備	障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故 防止対策設備	-		
	特性	通学路指定状況 (学校指定)	-		通学路交通安全 プログラム	-		
バリアフリー法に 基づく特定道路上		-		緊急輸送道路上 重要物流道路上	-			
自動車交通量 (台/日)	9,125	歩行者等交通量 (人/日)	2,316	鉄道交通量 (本/日)	230			

基準算定データ							R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	9	前後歩道との 幅員差(m)	-1.6	踏切内の 事故発生 状況	事故別	件数	死者数	地域 課題 付近に老人福祉施設等があり、高齢者等の通行の 安全を確保する必要がある
A. 踏切自動車交通遮断 量(台・時)	18,250	AとBの和	22,882		踏切 事故	0	0	
B. 踏切歩行者等交通遮 断量(人・時)	4,632				道路交 通事故	0	0	

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点	
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭隘踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切		
-	-	-	-	-	-	-		

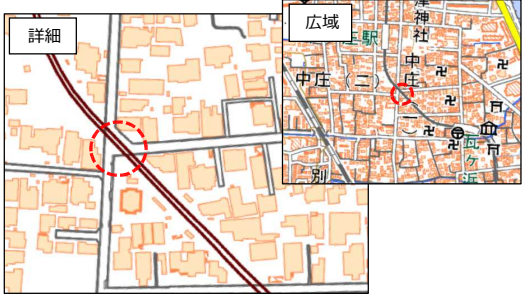
法指定の状況					R4年12月末時点	
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R4.1.21(現法)	第2条第10号 (高齢者等対策踏切)	-	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	検討中	-	-	-	-	
	対策内容					
	-					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-					
除却年度	-					
-						

地域課題踏切カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	つばきがはら	所在地	滋賀県大津市		
踏切道名	椿ヶ原	道路名	市道南0240号線、南0221号線	道路管理者名	大津市
		鉄道路線名	石山坂本線	鉄道事業者名	京阪電気鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	10.3		左道路	0.0	5.3	0.0	
	横断本数(本)	2		踏切道	0.0	16.9	0.0	
	交差角(度)	46		右道路	0.0	5.0	0.0	
	道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
	交通規制	交通規制なし			歩行者	迂回路なし (200m以内)	-	
	車両進入防護柵等	-			バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-	
	歩車道分離方法	なし		バリアリ化 状況	-	DID地区	○	
	踏切 保安 設備	賢い踏切	-		踏切支障報知 装置(手動)	-		
		高規格保安設備	障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故 防止対策設備	-		
	特性	通学路指定状況 (学校指定)	○		通学路交通安全 プログラム	-		
バリアフリー法に 基づく特定道路上		-		緊急輸送道路上 重要物流道路上	-			
自動車交通量 (台/日)	2,398		歩行者等交通量 (人/日)	728	鉄道交通量 (本/日)	228		

基準算定データ							R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	10	前後歩道との 幅員差(m)	0.0	踏切内の 事故発生 状況	事故別	件数	死者数	地域 課題 付近に老人福祉施設等があり、高齢者等の通行の 安全を確保する必要がある
A. 踏切自動車交通遮断 量(台・時)	4,796	AとBの和	6,252		踏切 事故	0	0	
B. 踏切歩行者等交通遮断 量(人・時)	1,456				道路交 通事故	0	0	

カルテ踏切の基準						R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭隘踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切
-	-	-	-	-	-	-


法指定の状況					R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)				
R4.1.21(現法)	第2条第10号 (高齢者等対策踏切)	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	検討中	-	-	-	-	
	対策内容					
	-					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-					
除却年度	-					
-						

地域課題踏切カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	ほんまちしもて	所在地	滋賀県大津市		
踏切道名	本町下手	道路名	市道幹1044号線	道路管理者名	大津市
		鉄道路線名	石山坂本線	鉄道事業者名	京阪電気鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
 <p>国土地理院電子国土web</p>	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	26.8		左道路	1.0	3.1	1.2	
	横断本数(本)	2		踏切道	1.0	3.3	1.1	
	交差角(度)	15		右道路	1.0	3.9	1.0	
	道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
	交通規制	交通規制なし		歩行者	迂回路なし (200m以内)	-		
	車両進入防護柵等	-		バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-		
	歩車道分離方法	白線・黄線		バリアリ化 状況	-	DID地区	○	
	踏切 保安 設備	賢い踏切	-		踏切支障報知 装置(手動)	-		
高規格保安設備		オーバーハング型警報装置 障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故 防止対策設備	-			
特性	通学路指定状況 (学校指定)	-		通学路交通安全 プログラム	-			
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上 重要物流道路上	-			
自動車交通量 (台/日)	3,683		歩行者等交通量 (人/日)	1,749	鉄道交通量 (本/日)	228		

基準算定データ							R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	16	前後歩道との 幅員差(m)	0.1	踏切内の 事故発生 状況	事故別	件数	死者数	地域 課題 付近に老人福祉施設等があり、高齢者等の通行の 安全を確保する必要がある
A. 踏切自動車交通遮断 量(台・時)	10,312	AとBの和	15,209		踏切 事故	0	0	
B. 踏切歩行者等交通遮 断量(人・時)	4,897				道路交 通事故	0	0	

カルテ踏切の基準						R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭陰踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切
-	-	-	-	-	-	-

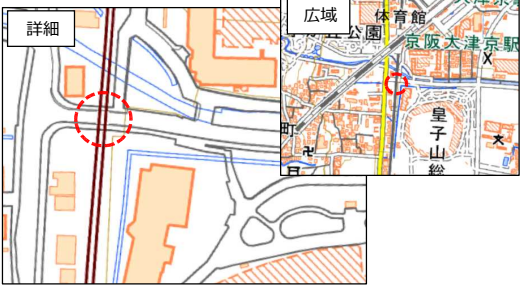
法指定の状況					R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)				
R4.1.21(現法)	第2条第10号 (高齢者等対策踏切)	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	検討中	-	-	-	-	
	対策内容					
	-					
	事業完了年度	対策の効果等				
-						
除却年度	-					
-						

地域課題踏切カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	おうじやまきゅうじょうまえ	所在地	滋賀県大津市		
踏切道名	皇子山球場前	道路名	市道幹2128号線	道路管理者名	大津市
		鉄道路線名	石山坂本線	鉄道事業者名	京阪電気鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
 <p>国土地理院電子国土web</p>	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	7.5		左道路	2.5	7.0	2.5	
	横断本数(本)	2		踏切道	2.5	7.0	2.5	
	交差角(度)	90	右道路	2.5	7.0	2.5		
	道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
	交通規制	交通規制なし		歩行者	駅構内自由通路	100		
	車両進入防護柵等	-		バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-		
	歩車道分離方法	白線・黄線		バリアリ化 状況	-	DID地区	○	
	踏切 保安 設備	賢い踏切	-		踏切支障報知 装置(手動)	-		
高規格保安設備		障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故 防止対策設備	-			
特性	通学路指定状況 (学校指定)	○		通学路交通安全 プログラム	-			
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	○		緊急輸送道路上 重要物流道路上	緊2次			
自動車交通量 (台/日)	3,778		歩行者等交通量 (人/日)	2,377	鉄道交通量 (本/日)	230		

基準算定データ							R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	15	前後歩道との 幅員差(m)	0.0	踏切内の 事故発生 状況	事故別	件数	死者数	地域 課題 付近に老人福祉施設等があり、高齢者等の通行の 安全を確保する必要がある
A. 踏切自動車交通遮断 量(台・時)	8,689	AとBの和	14,156		踏切 事故	0	0	
B. 踏切歩行者等交通遮 断量(人・時)	5,467				道路交 通事故	0	0	

カルテ踏切の基準						R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭隘踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切
-	-	-	-	-	-	-

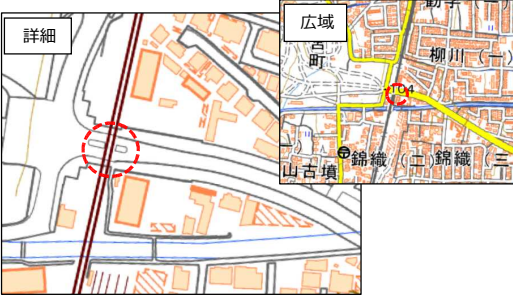
法指定の状況					R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)				
R4.1.21(現法)	第2条第10号 (高齢者等対策踏切)	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	検討中	-	-	-	-	
	対策内容					
	-					
	事業完了年度	対策の効果等				
-						
除却年度	-					
-						

地域課題踏切カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	じんぐうさんどう	所在地	滋賀県大津市		
踏切道名	神宮参道	道路名	県道下鴨大津線	道路管理者名	滋賀県
		鉄道路線名	石山坂本線	鉄道事業者名	京阪電気鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
 <p>国土地理院電子国土web</p>	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長 (m)	8		左道路	4.1	9.8	3.9	
	横断本数 (本)	2		踏切道	3.6	9.8	3.7	
	交差角 (度)	90	右道路	4.5	8.7	4.4		
	道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離 (m)	
		右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
	交通規制	交通規制なし		歩行者	迂回路なし (200m以内)	-		
	車両進入防護柵等	-		バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-		
	歩車道分離方法	白線・黄線		バリアリ化状況	-	DID地区	○	
	踏切保安設備	賢い踏切	-		踏切支障報知装置 (手動)	-		
高規格保安設備		障害物検知装置 (光式)		高齢者等の事故防止対策設備	-			
特性	通学路指定状況 (学校指定)	○		通学路交通安全プログラム	-			
	バリアフリー法に基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上重要物流道路上	-			
自動車交通量 (台/日)	9,249	歩行者等交通量 (人/日)	1,178	鉄道交通量 (本/日)	224			

基準算定データ							R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間 (分)	11	前後歩道との幅員差 (m)	-0.9	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題 付近に老人福祉施設等があり、高齢者等の通行の安全を確保する必要がある
A. 踏切自動車交通遮断量 (台・時)	23,122	AとBの和	26,067		踏切事故	0	0	
B. 踏切歩行者等交通遮断量 (人・時)	2,945				道路交通事故	0	0	

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	


法指定の状況					R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準 (踏切道改良促進法施行規則)				
R4.1.21 (現法)	第2条第10号 (高齢者等対策踏切)	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	検討中	-	-	-	-	
	対策内容					
	-					
	事業完了年度	対策の効果等				
-						
除却年度	-					
-						

地域課題踏切カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	かみせきでらくこうどう	所在地	滋賀県大津市		
踏切道名	上関寺国道	道路名	県道高島大津線	道路管理者名	滋賀県
		鉄道路線名	京津線	鉄道事業者名	京阪電気鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
 <p>国土地理院電子国土web</p>	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	10.3		左道路	2.6	8.5	3.6	
	横断本数(本)	2		踏切道	3.4	7.4	4.1	
	交差角(度)	46	右道路	2.2	10.5	4.0		
	道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
	交通規制	交通規制なし		歩行者	迂回路なし (200m以内)	-		
	車両進入防護柵等	-		バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-		
	歩車道分離方法	白線・黄線		バリアリ化 状況	-	DID地区	-	
	踏切 保安 設備	賢い踏切	-		踏切支障報知 装置(手動)	-		
高規格保安設備		障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故 防止対策設備	-			
特性	通学路指定状況 (学校指定)	-		通学路交通安全 プログラム	-			
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上 重要物流道路上	緊1次			
自動車交通量 (台/日)	10,901	歩行者等交通量 (人/日)	456	鉄道交通量 (本/日)	138			

基準算定データ							R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	6	前後歩道との 幅員差(m)	1.2	踏切内の 事故発生 状況	事故別	件数	死者数	地域 課題 付近に老人福祉施設等があり、高齢者等の通行の 安全を確保する必要がある
A. 踏切自動車交通遮断 量(台・時)	17,441	AとBの和	18,170		踏切 事故	0	0	
B. 踏切歩行者等交通遮断 量(人・時)	729				道路交 通事故	0	0	

カルテ踏切の基準						R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭隘踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切
-	-	-	-	-	-	-

法指定の状況					R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)				
R4.1.21(現法)	第2条第10号 (高齢者等対策踏切)	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	検討中	-	-	-	-	
	対策内容					
	-					
	事業完了年度	対策の効果等				
-						
除却年度	-					
-						

踏切道安全通行カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	じんぐう	所在地	滋賀県彦根市岡町字鳥居72-5		
踏切道名	神宮	道路名	市道彦根口河瀬駅線	道路管理者名	彦根市
		鉄道路線名	東海道線	鉄道事業者名	西日本旅客鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	10.5		左道路	1.8	9.2	0.0	
	横断本数(本)	2		踏切道	2.0	9.0	0.0	
	交差角(度)	65	右道路	1.8	9.2	0.0		
	道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
	交通規制	交通規制なし			歩行者	迂回路なし (200m以内)	-	
	車両進入防護柵等	設置していない			バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-	
	歩車道分離方法	黄線		バリアリ化 状況	-	DID地区	○	
	踏切 保安 設備	賢い踏切	-		踏切支障報知 装置(手動)	○		
高規格保安設備		・オーバーハング型 警報装置 ・障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故 防止対策設備	-			
特性	通学路指定状況 (学校指定)	○		通学路交通安全 プログラム	○			
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上 重要物流道路上	-			
自動車交通量 (台/日)	10,216	歩行者等交通量 (人/日)	1,089	鉄道交通量 (本/日)	263			

基準算定データ							R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	24	前後歩道との 幅員差(m)	0.0	踏切内の 事故発生 状況	事故別	件数	死者数	地域 課題 ・通学路指定されており歩道整備必要
A. 踏切自動車交通遮断 量(台・時)	46,994	AとBの和	52,003		踏切 事故	1	1	
B. 踏切歩行者等交通遮 断量(人・時)	5,009				道路交 通事故	0	0	

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切	
-	-	-	-	○	-	-	

法指定の状況					R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準 (踏切道改良促進法施行規則)				
R4.1.21 (現法)	第2条第9号 (通学路要対策踏切)	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	検討中	-	-	-	-	
	対策内容					
	<ul style="list-style-type: none"> 踏切東側の交差点改良(H30) 歩道整備、カラー舗装 					
	事業完了年度	対策の効果等				
-						
除却年度						
-						

踏切道安全通行カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	きのもと	所在地	滋賀県長浜市木ノ本町木ノ本字稗田1543-9		
踏切道名	木ノ本	道路名	国道303号	道路管理者名	滋賀県
		鉄道路線名	北陸線	鉄道事業者名	西日本旅客鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等						R3年9月末時点
	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長 (m)	18.4		左道路	0.0	7.6	1.1	
	横断本数 (本)	3		踏切道	0.0	6.9	1.1	
	交差角 (度)	90		右道路	0.0	7.6	1.1	
	道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離 (m)	
		右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
	交通規制	交通規制なし			歩行者	迂回路なし (200m以内)	-	
	車両進入防護柵等	設置していない			バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-	
	歩車道分離方法	白線・黄線			バリアリ化状況	-	DID地区	-
	踏切保安設備	賢い踏切	-		踏切支障報知装置 (手動)	○		
高規格保安設備		障害物検知装置 (ループ)		高齢者等の事故防止対策設備	接続軌道化			
特性	通学路指定状況 (学校指定)	○		通学路交通安全プログラム	○			
	バリアフリー法に基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上重要物流道路上	-			
自動車交通量 (台/日)	4,886		歩行者等交通量 (人/日)	1,719	鉄道交通量 (本/日)	102		

基準算定データ							R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間 (分)	14	前後歩道との幅員差 (m)	0.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題 通学路安全プログラムに位置付けられており、対策が必要。
A. 踏切自動車交通遮断量 (台・時)	10,750	AとBの和	14,532		踏切事故	1	1	
B. 踏切歩行者等交通遮断量 (人・時)	3,782				道路交通事故	0	0	

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	○	-	-	

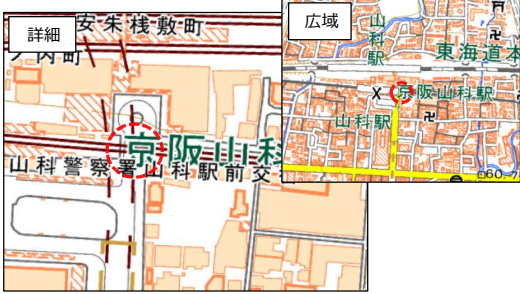
法指定の状況						R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準 (踏切道改良促進法施行規則)					
R4. 1. 21 (現法)	第2条第9号 (通学路要対策踏切)	-	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	検討中	-	-	-	-	
	対策内容					
	-					
	事業完了年度	対策の効果等				
-						
除却年度						
-						

地域課題踏切カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	やましなえきまえ	所在地	京都府京都市山科区		
踏切道名	山科駅前	道路名	府道渋谷山科停車場線	道路管理者名	京都市
		鉄道路線名	京津線	鉄道事業者名	京阪電気鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
 <p>国土地理院電子国土web</p>	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	7.2		左道路	1.6	5.6	0.0	
	横断本数(本)	2		踏切道	1.5	5.7	0.0	
	交差角(度)	90	右道路	1.6	5.0	6.5		
	道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
	交通規制	交通規制なし		歩行者	地下道	20		
	車両進入防護柵等	-		バリアリ化	地下道	20		
	歩車道分離方法	カラー舗装		バリアリ化 状況	両側にスロー プ	DID地区	○	
	踏切 保安 設備	賢い踏切	-		踏切支障報知 装置(手動)	-		
高規格保安設備		障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故 防止対策設備	-			
特性	通学路指定状況 (学校指定)	○		通学路交通安全 プログラム	-			
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上 重要物流道路上	-			
自動車交通量 (台/日)	2,126		歩行者等交通量 (人/日)	18,798	鉄道交通量 (本/日)	134		

基準算定データ							R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	8	前後歩道との 幅員差(m)	-6.5	踏切内の 事故発生 状況	事故別	件数	死者数	地域 課題 付近に老人福祉施設等があり、高齢者等の通行の 安全を確保する必要がある
A. 踏切自動車交通遮断 量(台・時)	3,827	AとBの和	37,663		踏切 事故	0	0	
B. 踏切歩行者等交通遮断 量(人・時)	33,836				道路交 通事故	1	0	

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況					R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)				
R4.1.21(現法)	第2条第10号 (高齢者等対策踏切)	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	事業中	-	-	R4	R4	
	対策内容					
	非常押しボタン設置(R4)					
	事業完了年度	対策の効果等				
-						
除却年度						
-						

踏切道安全通行カルテ

更新日：令和4年12月末

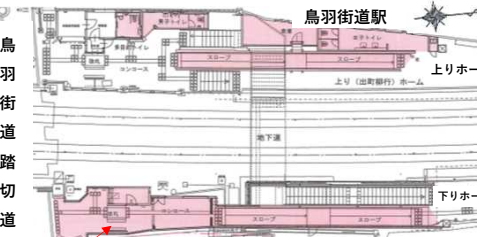

よみがな	とばかいどう	所在地	京都府京都市伏見区深草相深町30地先		
踏切道名	鳥羽街道	道路名	一般市道鳥羽道	道路管理者名	京都市
		鉄道路線名	京阪本線	鉄道事業者名	京阪電気鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等				R3年9月末時点		
<p>詳細</p>  <p>国土地理院電子国土web</p> <p>広域</p>  <p>(現況)</p>  <p>(対策後) 踏切拡幅 (H28)</p> 	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	7.4		左道路	3.0	8.0	3.0	
	横断本数(本)	2		踏切道	3.0	8.0	3.0	
	交差角(度)	83		右道路	3.0	8.0	3.0	
	道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等 距離(m)		
		右道路	直線		自動車	終点寄有り	850	
	交通規制	大型車の通行禁止			歩行者	地下道 80		
	車両進入防護柵等	設置していない			バリアリ化	迂回路なし (200m以内) -		
	歩車道分離方法	白線・黄線		バリアリ化状況	-	DID地区	○	
	踏切保安設備	賢い踏切	○		踏切支障報知装置(手動)	○		
高規格保安設備		障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故防止対策設備	接続軌道化			
特性	通学路指定状況(学校指定)	-		通学路交通安全プログラム	-			
	バリアフリー法に基づく特定道路上	○(対応済)		緊急輸送道路上重要物流道路上	-			
自動車交通量(台/日)	4,571		歩行者等交通量(人/日)	3,033	鉄道交通量(本/日)	480		

基準算定データ						R3年9月末時点			
ピーク時遮断時間(分)	31	前後歩道との幅員差(m)	0.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	-
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	37,027	AとBの和	61,590		踏切事故	0	0		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	24,563				道路交通事故	0	0		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	-

法指定の状況					R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準 (踏切道改良促進法施行規則)				
R4.1.21 (現法)	第2条第2号 (歩行者ボトルネック踏切)	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点
<p>鳥羽街道踏切道</p>  <p>東改札口新設</p> 	鳥羽街道駅	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度
	上りホーム	対策完了	-	-	R3	R3
	地下道	対策内容				
	下りホーム	<ul style="list-style-type: none"> 踏切道拡幅 (H28) 踏切道監視カメラ (H26) 踏切支障押しボタン (H28) 東改札口新設 (R4) 				
		事業完了年度	対策の効果等			
	除却年度	-				

踏切道安全通行カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	まつおじんじゃ	所在地	京都府京都市西京区嵐山宮ノ前町		
踏切道名	松尾神社	道路名	府道宇多野嵐山山田線	道路管理者名	京都市
		鉄道路線名	嵐山線	鉄道事業者名	阪急電鉄

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
 <p>国土地理院電子国土web</p>	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	12		左道路	1.5	9.8	1.3	
	横断本数(本)	2		踏切道	1.4	9.9	1.2	
	交差角(度)	57	右道路	1.4	9.7	1.5		
	道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	直線		自動車	-	-	
	交通規制	交通規制なし		歩行者	迂回路なし (200m以内)	-		
	車両進入防護柵等	設置していない		バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-		
	歩車道分離方法	白線・黄線		バリアリ化 状況	-	DID地区	○	
	踏切 保安 設備	賢い踏切	○		踏切支障報知 装置(手動)	○		
高規格保安設備		障害物検知装置(その他)		高齢者等の事故 防止対策設備	踏切支障報知装置 手動(押しタ)			
特性	通走路指定状況 (学校指定)	-		通走路交通安全 プログラム	-			
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	○		緊急輸送道路上 重要物流道路上	緊3次			
自動車交通量 (台/日)	10,828	歩行者等交通量 (人/日)	4,510	鉄道交通量 (本/日)	172			

基準算定データ							R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	15	前後歩道との 幅員差(m)	-0.3	踏切内の 事故発生 状況	事故別	件数	死者数	地域 課題
A. 踏切自動車交通遮断 量(台・時)	35,913	AとBの和	50,871		踏切 事故	0	0	
B. 踏切歩行者等交通遮断 量(人・時)	14,958				道路交 通事故	0	0	

カルテ踏切の基準						R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭隘踏切	通走路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切
-	-	-	-	-	-	○

法指定の状況					R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準 (踏切道改良促進法施行規則)				
R4.1.21 (現法)	第2条第11号 (移動等円滑化要対策踏切)	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	検討中	-	-	-	-	
	対策内容					
	-					
	事業完了年度	対策の効果等				
-						
除却年度						
-						

踏切道安全通行カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	そうぼう	所在地	京都府相楽郡精華町大字下狛小字林前		
踏切道名	僧坊	道路名	舟僧坊線	道路管理者名	精華町
		鉄道路線名	片町線	鉄道事業者名	西日本旅客鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	5.6		左道路	0.0	3.1	0.0	
	横断本数(本)	1		踏切道	0.0	4.0	0.0	
	交差角(度)	80		右道路	0.0	2.9	0.0	
	道路線形	左道路	曲線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
	交通規制	大型車の通行禁止			歩行者	迂回路なし (200m以内)	-	
	車両進入防護柵等	設置していない			バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-	
	歩車道分離方法	なし			バリアリ化 状況	-	DID地区	-
	踏切 保安 設備	賢い踏切	-		踏切支障報知 装置(手動)	○		
高規格保安設備		障害物検知装置(3D)		高齢者等の事故 防止対策設備	-			
特性	通学路指定状況 (学校指定)	○		通学路交通安全 プログラム	○			
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上 重要物流道路上	-			
自動車交通量 (台/日)	1,072		歩行者等交通量 (人/日)	292	鉄道交通量 (本/日)	87		

基準算定データ							R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	9	前後歩道との 幅員差(m)	0.0	踏切内の 事故発生 状況	事故別	件数	死者数	地域 課題 ・通学路に指定されており歩道整備が必要
A. 踏切自動車交通遮断 量(台・時)	2,037	AとBの和	2,592		踏切 事故	0	0	
B. 踏切歩行者等交通遮断 量(人・時)	555				道路交 通事故	0	0	

カルテ踏切の基準						R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭危険踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切
-	-	-	-	○	-	-

法指定の状況					R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準 (踏切道改良促進法施行規則)				
R4. 1. 21 (現法)	第2条第9号 (通学路要対策踏切)	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	検討中	○	-	-	-	
	対策内容					
	-					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-					
除却年度	-					
-						

踏切道安全通行カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	たかいし5ごう	所在地	大阪府高石市綾園5丁目7-76先		
踏切道名	高石5号	道路名	市道小高石筋線	道路管理者名	高石市
		鉄道路線名	南海本線	鉄道事業者名	南海電気鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	9.6		左道路	2.0	8.1	2.0	
	横断本数(本)	2		踏切道	1.8	8.4	1.8	
	交差角(度)	83	右道路	2.0	7.3	2.7		
	道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	直線		自動車	両方共有り	550	
	交通規制	交通規制なし			歩行者	跨線橋	138	
	車両進入防護柵等	設置していない			バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-	
	歩車道分離方法	白線		バリアリ化 状況	-	DID地区	○	
	踏切 保安 設備	賢い踏切	○		踏切支障報知 装置(手動)	○		
高規格保安設備		障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故 防止対策設備	接続軌道			
特性	通学路指定状況 (学校指定)	-		通学路交通安全 プログラム	-			
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上 重要物流道路上	-			
自動車交通量 (台/日)	2,821		歩行者等交通量 (人/日)	2,070		鉄道交通量 (本/日)	534	

基準算定データ							R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	27	前後歩道との 幅員差(m)	-0.9	踏切内の 事故発生 状況	事故別	件数	死者数	地域 課題
A. 踏切自動車交通遮断 量(台・時)	15,516	AとBの和	26,901		踏切 事故	2	1	
B. 踏切歩行者等交通遮断 量(人・時)	11,385				道路交 通事故	0	0	

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭危険踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切	
-	-	-	-	-	○	-	

法指定の状況					R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準 (踏切道改良促進法施行規則)				
R4.1.21 (現法)	第2条第8号 (事故多発踏切)	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	検討中	-	-	-	-	
	対策内容					
	・踏切支障報知装置 (H29)					
	事業完了年度	対策の効果等				
-						
除却年度	-					
-						

踏切道安全通行カルテ

更新日：令和4年12月末

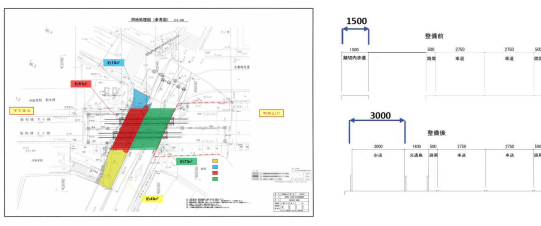
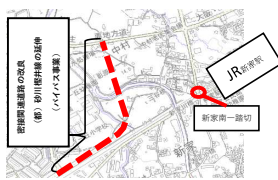
よみがな	しんげみなみいち	所在地	大阪府泉南市新家中村2960-4		
踏切道名	新家南一	道路名	府道大阪和泉泉南線	道路管理者名	大阪府
		鉄道路線名	阪和線	鉄道事業者名	西日本旅客鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点		
	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)		
	踏切長(m)	11.2		左道路	0.0	6.5	0.0		
	横断本数(本)	2		踏切道	1.5	6.5	0.0		
	交差角(度)	65		右道路	0.0	6.5	0.0		
	道路線形	左道路	曲線	迂回路	種類	有無等	距離(m)		
		右道路	直線		自動車	両方共なし	-		
	交通規制		交通規制なし		歩行者	架道橋(と交差する道路)	100		
	車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし(200m以内)	-		
	歩車道分離方法		その他		バリアリ化状況	-	DID地区	-	
	踏切保安設備	賢い踏切	-		踏切支障報知装置(手動)		○		
高規格保安設備		障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故防止対策設備		接続軌道舗装版			
特性	通学路指定状況(学校指定)	○		通学路交通安全プログラム		○			
	バリアフリー法に基づく特定道路上	○		緊急輸送道路上重要物流道路上		緊1次			
自動車交通量(台/日)		11,545	歩行者等交通量(人/日)		1,962	鉄道交通量(本/日)		234	

基準算定データ							R3年9月末時点		
ピーク時遮断時間(分)	19	前後歩道との幅員差(m)	1.5	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	-
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	61,189	AとBの和	71,587		踏切事故	1	0		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	10,399				道路交通事故	0	0		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点	
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切		
-	○	-	-	○	-	○		

法指定の状況					R4年12月末時点	
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R4.1.21(現法)	第2条第1号(自動車ボトルネック踏切)	第2条第9号(通学路要対策踏切)	第2条第11号(移動等円滑化要対策踏切)	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点	
構造改良(踏切拡幅)		進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
		事業中	-	-	構造改良 令和2年度 密接関連道路の改良(都市計画事業案認可取得)平成28年度	構造改良 令和2年度 密接関連道路の改良 令和3年度	
対策内容							
<ul style="list-style-type: none"> 構造改良(踏切拡幅) 密接関連道路の改良(都市計画道路の新設) 踏切接続道路の「視覚障害者誘導用ブロック」設置(R4) 							
密接関連道路の改良		事業完了年度	対策の効果等				
		-	-				
		除却年度	-				
		-	-				

地域課題踏切カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	いやがたにだい3	所在地	兵庫県神戸市北区		
踏切道名	居屋ヶ谷第3	道路名	市道有野町合併第235号線	道路管理者名	神戸市
		鉄道路線名	三田線	鉄道事業者名	神戸電鉄

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
 <p>国土地理院電子国土web</p>	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	4.9		左道路	0.0	5.3	0.0	
	横断本数(本)	1		踏切道	0.0	4.0	0.0	
	交差角(度)	70		右道路	0.0	3.8	0.0	
	道路線形	左道路	曲線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	曲線		自動車	両方共なし	-	
	交通規制	自動車の全面通行禁止			歩行者	迂回路なし (200m以内)	-	
	車両進入防護柵等	-			バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-	
	歩車道分離方法	なし			バリアリ化 状況	-	DID地区	-
	踏切 保安 設備	賢い踏切	-		踏切支障報知 装置(手動)	-		
		高規格保安設備	-		高齢者等の事故 防止対策設備	-		
	特性	通学路指定状況 (学校指定)	-		通学路交通安全 プログラム	-		
バリアフリー法に 基づく特定道路上		-		緊急輸送道路上 重要物流道路上	-			
自動車交通量 (台/日)	18		歩行者等交通量 (人/日)	907	鉄道交通量 (本/日)	163		

基準算定データ							R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	11	前後歩道との 幅員差(m)	0.0	踏切内の 事故発生 状況	事故別	件数	死者数	地域 課題 付近に老人福祉施設等があり、高齢者等の通行の 安全を確保する必要がある
A. 踏切自動車交通遮断 量(台・時)	45	AとBの和	2,313		踏切 事故	0	0	
B. 踏切歩行者等交通遮 断量(人・時)	2,268				道路交 通事故	0	0	

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭隘踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準 (踏切道改良促進法施行規則)					
R4. 1. 21 (現法)	第2条第10号 (高齢者等対策踏切)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	対策完了	-	-	R4	R4	
	対策内容					
	非常押ボタン (R4)					
	事業完了年度	対策の効果等				
R4						
除却年度	-					
-						

踏切道安全通行カルテ

更新日：令和4年12月末

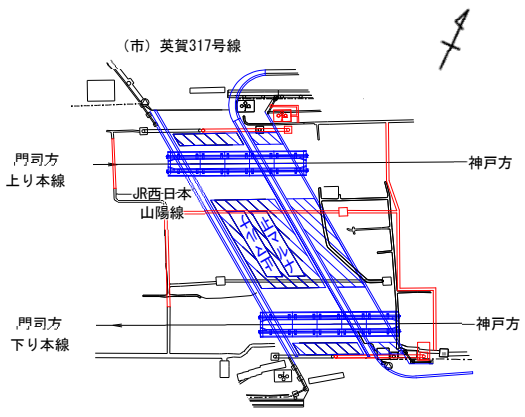
よみがな	かすが	所在地	兵庫県姫路市飾磨区山崎字村東311-1		
踏切道名	春日	道路名	市道英賀317号線	道路管理者名	姫路市
		鉄道路線名	山陽線	鉄道事業者名	西日本旅客鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等				R3年9月末時点		
	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	22.4		左道路	0.0	5.9	0.0	
	横断本数(本)	2		踏切道	0.0	5.0	0.0	
	交差角(度)	60	右道路	0.0	5.5	0.0		
	道路線形	左道路	曲線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	曲線		自動車	両方共なし	-	
	交通規制	大型自動車等通行禁止			歩行者	迂回路なし (200m以内)	-	
	車両進入防護柵等	設置していない			バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-	
	歩車道分離方法	なし		バリアリ化状況	-	DID地区	○	
	踏切保安設備	賢い踏切	-		踏切支障報知装置(手動)	○		
高規格保安設備		オーバーハング型警報装置、障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故防止対策設備	-			
特性	通学路指定状況 (学校指定)	-		通学路交通安全プログラム	-			
	バリアフリー法に基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上重要物流道路上	-			
自動車交通量 (台/日)	3,573		歩行者等交通量 (人/日)	1,014	鉄道交通量 (本/日)	377		

基準算定データ							R3年9月末時点		
ピーク時遮断時間(分)	30	前後歩道との幅員差(m)	0.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	-
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	29,299	AとBの和	37,613		踏切事故	1	1		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	8,315				道路交通事故	2	0		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭陰踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	○	-	

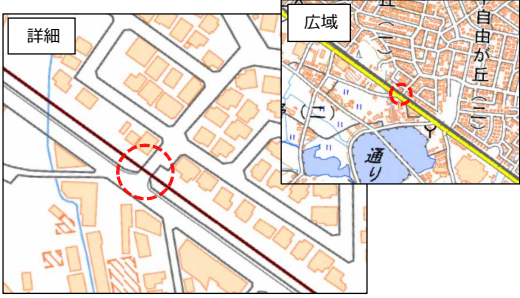
法指定の状況					R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準 (踏切道改良促進法施行規則)				
R4. 1. 21 (現法)	第2条第8号 (事故多発踏切)	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	検討中	-	R4	-	-	
	対策内容					
	踏切道の車道拡幅及び歩道設置					
	事業完了年度	対策の効果等				
-	-					
除却年度	-					
-	-					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和4年12月末


よみがな	かみとうりいけだい1	所在地	兵庫県三木市		
踏切道名	上通池第1	道路名	市道広野窟屋線	道路管理者名	三木市
		鉄道路線名	粟生線	鉄道事業者名	神戸電鉄

位置図・現況写真		諸元・構造等				R3年9月末時点		
 <p>国土地理院電子国土web</p>	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	4.6		左道路	0.0	6.0	0.0	
	横断本数(本)	1		踏切道	0.0	6.0	0.0	
	交差角(度)	90	右道路	0.0	6.0	0.0		
	道路線形	左道路	曲線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
	交通規制	大型車の通行禁止		歩行者	その他	114		
	車両進入防護柵等	-		バリアリ化	迂回路なし (200m以内)		-	
	歩車道分離方法	なし		バリアリ化 状況	-	DID地区	-	
	踏切 保安 設備	賢い踏切	-		踏切支障報知 装置(手動)		-	
高規格保安設備		オーバーハング型警報装置 障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故 防止対策設備		-		
特性	通学路指定状況 (学校指定)	-		通学路交通安全 プログラム		-		
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上 重要物流道路上		-		
自動車交通量 (台/日)	2,870		歩行者等交通量 (人/日)	453	鉄道交通量 (本/日)	128		

基準算定データ							R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	7	前後歩道との 幅員差(m)	0.0	踏切内の 事故発生 状況	事故別	件数	死者数	地域 課題 付近に老人福祉施設等があり、高齢者等の通行の 安全を確保する必要がある
A. 踏切自動車交通遮断 量(台・時)	4,018	AとBの和	4,652		踏切 事故	0	0	
B. 踏切歩行者等交通遮 断量(人・時)	634				道路交 通事故	0	0	

カルテ踏切の基準						R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭危険踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切
-	-	-	-	-	-	-

法指定の状況					R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準 (踏切道改良促進法施行規則)				
R4. 1. 21 (現法)	第2条第10号 (高齢者等対策踏切)	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	対策完了	○	-	R4	R4	
	対策内容					
非常押ボタン (R4)						
事業完了年度	対策の効果等					
R4	-					
除却年度						
-						

踏切道安全通行カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	たかさご	所在地	兵庫県高砂市高砂町朝日町1丁目45-6		
踏切道名	高砂	道路名	市道本町幹線	道路管理者名	高砂市
		鉄道路線名	本線	鉄道事業者名	山陽電気鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	8.5		左道路	2.1	9.5	2.6	
	横断本数(本)	2		踏切道	2.8	10.3	1.5	
	交差角(度)	83	右道路	2.0	11.0	1.4		
	道路線形	左道路	曲線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	直線		自動車	両方共有り	230	
	交通規制	交通規制なし		歩行者	地下道	140		
	車両進入防護柵等	設置していない		バリアリ化	地下道	140		
	歩車道分離方法	白線・黄線		バリアリ化状況	両側にスロープ	DID地区	○	
	踏切保安設備	賢い踏切	-		踏切支障報知装置(手動)	○		
高規格保安設備		障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故防止対策設備	接続軌道化			
特性	通学路指定状況(学校指定)	-		通学路交通安全プログラム	-			
	バリアフリー法に基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上重要物流道路上	-			
自動車交通量(台/日)	8,513		歩行者等交通量(人/日)	1,798	鉄道交通量(本/日)	348		

基準算定データ							R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	35	前後歩道との幅員差(m)	-1.1	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題 自動車の交通量が多いため、渋滞が多く発生している
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	50,227	AとBの和	60,835		踏切事故	0	0	
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	10,608				道路交通事故	0	0	

カルテ踏切の基準						R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭径踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切
-	○	-	-	-	-	-

法指定の状況					R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)				
R4.1.21(現法)	第2条第1号(自動車ボトルネック踏切)	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	検討中	-	-	R4(着工準備)	-	
	対策内容					
	<ul style="list-style-type: none"> 踏切迂回看板の設置(R3) 注意喚起看板設置(R1) 路面カラー舗装(R2) 連続立体交差(着工準備R4~) 					
	事業完了年度	対策の効果等				
-						
除却年度	-					
-						

地域課題踏切カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	たかさごにし	所在地	兵庫県高砂市高砂町浜田町 1 丁目337-2		
踏切道名	高砂西	道路名	市道高砂67号線	道路管理者名	高砂市
		鉄道路線名	本線	鉄道事業者名	山陽電気鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等						R3年9月末時点	
 <p>国土地理院電子国土web</p>	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)		
	踏切長(m)	8.5		左道路	0.0	4.4	0.0		
	横断本数(本)	2		踏切道	0.0	3.8	0.0		
	交差角(度)	90		右道路	0.0	4.9	0.0		
	道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)		
		右道路	直線		自動車	両方共あり	600		
	交通規制	その他の交通規制		歩行者	迂回路なし (200m以内)	-			
	車両進入防護柵等	-		バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-			
	歩車道分離方法	なし		バリアリ化状況	-	DID地区	○		
	踏切保安設備	賢い踏切	○		踏切支障報知装置(手動)	○			
高規格保安設備		障害物検知装置 (光式)		高齢者等の事故防止対策設備	-				
特性	通学路指定状況 (学校指定)	-		通学路交通安全プログラム	-				
	バリアフリー法に基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上重要物流道路上	-				
自動車交通量 (台/日)	959		歩行者等交通量 (人/日)	977		鉄道交通量 (本/日)	328		

基準算定データ							R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	18	前後歩道との幅員差(m)	0.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題 鉄道の南北に高校があり、多くの生徒が自転車で踏切を横断しているが、幅員が狭く、自動車と輻輳し、危険な状態である。
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	4,795	AとBの和	9,680		踏切事故	0	0	
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	4,885				道路交通事故	1	0	

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭陰踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準 (踏切道改良促進法施行規則)					
R4. 1. 21 (現法)	第2条第12号 (地域課題踏切)	-	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	検討中	-	-	R4 (着工準備)	-	
	対策内容					
	・連続立体交差 (着工準備R4~)					
	事業完了年度	対策の効果等				
-						
除却年度	-					
-						

地域課題踏切カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	あらいみち	所在地	兵庫県高砂市高砂町浜田町1丁目438-2		
踏切道名	荒井道	道路名	市道高砂34号線	道路管理者名	高砂市
		鉄道路線名	本線	鉄道事業者名	山陽電気鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
 <p>国土地理院電子国土web</p>	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	9.8		左道路	0.0	4.8	1.3	
	横断本数(本)	2		踏切道	0.0	4.3	0.0	
	交差角(度)	60	右道路	2.0	6.6	1.9		
	道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	曲線		自動車	両方共あり	473	
	交通規制	その他の交通規制		歩行者	迂回路なし (200m以内)	-		
	車両進入防護柵等	-		バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-		
	歩車道分離方法	なし		バリアリ化 状況	-	DID地区	○	
	踏切 保安 設備	賢い踏切	○		踏切支障報知 装置(手動)	○		
高規格保安設備		障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故 防止対策設備	-			
特性	通学路指定状況 (学校指定)	-		通学路交通安全 プログラム	-			
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上 重要物流道路上	-			
自動車交通量 (台/日)	1,160		歩行者等交通量 (人/日)	1,768	鉄道交通量 (本/日)	328		

基準算定データ							R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	24	前後歩道との 幅員差(m)	-2.0	踏切内の 事故発生 状況	事故別	件数	死者数	地域 課題 鉄道の南北に高校があり、多くの生徒が自転車 で踏切を横断しているが、幅員が狭く、自動車と 輻輳し、危険な状態である。
A. 踏切自動車交通遮断 量(台・時)	6,844	AとBの和	17,275		踏切 事故	0	0	
B. 踏切歩行者等交通遮断 量(人・時)	10,431				道路交 通事故	0	0	

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭陰踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R4.1.21(現法)	第2条第12号 (地域課題踏切)	-	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	検討中	-	-	R4(着工準備)	-	
	対策内容					
	・連続立体交差(着工準備R4~)					
	事業完了年度	対策の効果等				
-						
除却年度	-					
-						

地域課題踏切カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	あらい	所在地	兵庫県高砂市荒井町扇町304-2		
踏切道名	荒井	道路名	市道荒井1号線	道路管理者名	高砂市
		鉄道路線名	本線	鉄道事業者名	山陽電気鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
 <p>国土地理院電子国土web</p>	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長 (m)	13.2		左道路	3.7	9.3	0.0	
	横断本数 (本)	2		踏切道	2.5	7.0	0.0	
	交差角 (度)	76		右道路	3.1	7.4	3.0	
	道路線形	左道路	曲線	迂回路	種類	有無等	距離 (m)	
		右道路	直線		自動車	両方共あり	141	
	交通規制	交通規制なし			歩行者	地下道	12	
	車両進入防護柵等	-			バリアリ化	跨線橋	141	
	歩車道分離方法	白線・その他			バリアリ化状況	両側にスロープ	DID地区	○
		踏切保安設備	賢い踏切	○	踏切支障報知装置 (手動)	○		
		高規格保安設備	障害物検知装置 (光式)	高齢者等の事故防止対策設備	接続軌道化			
特性		通学路指定状況 (学校指定)	○	通学路交通安全プログラム	-			
		バリアフリー法に基づく特定道路上	-	緊急輸送道路上重要物流道路上	-			
自動車交通量 (台/日)	1,879	歩行者等交通量 (人/日)	3,967	鉄道交通量 (本/日)	328			

基準算定データ							R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間 (分)	25	前後歩道との幅員差 (m)	-3.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題 鉄道南側に臨海工業地域があり、多くの企業が集積している。このため、朝夕に歩行者、自転車の交通が非常に多く、自動車と輻輳し、危険な状態である。
A. 踏切自動車交通遮断量 (台・時)	11,086	AとBの和	34,491		踏切事故	0	0	
B. 踏切歩行者等交通遮断量 (人・時)	23,405				道路交通事故	0	0	

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況					R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準 (踏切道改良促進法施行規則)				
R4.1.21 (現法)	第2条第12号 (地域課題踏切)	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	検討中	-	-	R4 (着工準備)	-	
	対策内容					
	・連続立体交差 (着工準備R4~)					
	事業完了年度	対策の効果等				
-						
除却年度	-					
-						

地域課題踏切カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	しんこうまえ	所在地	兵庫県高砂市荒井町南栄町1568-2		
踏切道名	神鋼前	道路名	市道荒井192号線	道路管理者名	高砂市
		鉄道路線名	本線	鉄道事業者名	山陽電気鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
<p>国土地理院電子国土web</p>	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	11.8		左道路	6.0	14.5	0.0	
	横断本数(本)	2		踏切道	0.0	16.5	0.0	
	交差角(度)	80		右道路	3.2	12.4	2.3	
	道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	直線		自動車	両方共あり	385	
	交通規制	その他の交通規制			歩行者	迂回路なし (200m以内)	-	
	車両進入防護柵等	-			バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-	
	歩車道分離方法	カラー舗装		バリアリ化 状況	-	DID地区	○	
	踏切 保安 設備	賢い踏切	○		踏切支障報知 装置(手動)	○		
高規格保安設備		障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故 防止対策設備	接続軌道化			
特性	通学路指定状況 (学校指定)	-		通学路交通安全 プログラム	-			
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上 重要物流道路上	-			
自動車交通量 (台/日)	6,955		歩行者等交通量 (人/日)	1,964	鉄道交通量 (本/日)	328		

基準算定データ							R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	26	前後歩道との 幅員差(m)	-6.0	踏切内の 事故発生 状況	事故別	件数	死者数	地域 課題 鉄道南側の臨海工業地域への通勤自動車が多く、朝夕に慢性的に渋滞が発生している(朝の最大渋滞長約1,700m)。また、平成25年には、北側近接交差点の先詰まりで踏切内に残った車両と列車が衝突し、脱線する事故が発生した。このため、事故後、中型車以上の北進が規制されている。
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	41,035	AとBの和	52,623		踏切事故	0	0	
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	11,588				道路交通事故	0	0	

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点	
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭陰踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切		
-	-	-	-	-	-	-		


法指定の状況					R4年12月末時点	
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R4.1.21(現法)	第2条第12号 (地域課題踏切)	-	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	検討中	-	-	R4(着工準備)	-	
	対策内容					
	・連続立体交差(着工準備R4~)					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-					
除却年度						
-						

地域課題踏切カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	きっこーまん	所在地	兵庫県高砂市荒井町千鳥2丁目1627-2		
踏切道名	キッコーマン	道路名	市道荒井2号線	道路管理者名	高砂市
		鉄道路線名	本線	鉄道事業者名	山陽電気鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等						R3年9月末時点	
 <p>国土地理院電子国土web</p>	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)		
	踏切長(m)	9		左道路	0.0	8.6	0.0		
	横断本数(本)	2		踏切道	0.0	7.8	0.0		
	交差角(度)	90		右道路	0.0	8.6	0.0		
	道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)		
		右道路	直線		自動車	両方共あり	592		
	交通規制	交通規制なし			歩行者	迂回路なし (200m以内)	-		
	車両進入防護柵等	-			バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-		
	歩車道分離方法	なし		バリアリ化 状況	-	DID地区	○		
	踏切 保安 設備	賢い踏切	○		踏切支障報知 装置(手動)		○		
高規格保安設備		障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故 防止対策設備		接続軌道化			
特性	通学路指定状況 (学校指定)	-		通学路交通安全 プログラム		-			
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上 重要物流道路上		-			
自動車交通量 (台/日)	1,627		歩行者等交通量 (人/日)	1,131		鉄道交通量 (本/日)	328		

基準算定データ							R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	25	前後歩道との 幅員差(m)	0.0	踏切内の 事故発生 状況	事故別	件数	死者数	地域 課題 鉄道北側に未整備で一方通行の(都)浜幹線があり、踏切と近接していることから、神鋼前踏切と同様の事故の可能性が潜在している。
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	10,087	AとBの和	17,099		踏切事故	0	0	
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	7,012				道路交通事故	0	0	

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点	
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭陰踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切		
-	-	-	-	-	-	-		

法指定の状況						R4年12月末時点	
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)						
R4.1.21(現法)	第2条第12号 (地域課題踏切)	-	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点	
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度		
	検討中	-	-	R4(着工準備)	-		
	対策内容						
	・連続立体交差(着工準備R4~)						
	事業完了年度	対策の効果等					
-							
除却年度	-						
-							

地域課題踏切カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	いけのした	所在地	兵庫県小野市池尻町字池の下4-2		
踏切道名	池の下	道路名	市道4309号線	道路管理者名	小野市
		鉄道路線名	粟生線	鉄道事業者名	神戸電鉄

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
<p>国土地理院電子国土web</p>	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	5		左道路	0.0	3.0	0.0	
	横断本数(本)	1		踏切道	0.0	2.7	0.0	
	交差角(度)	70	右道路	0.0	3.5	0.0		
	道路線形	左道路	曲線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
	交通規制	大型車の通行禁止		歩行者	その他	34		
	車両進入防護柵等	-		バリアリ化	迂回路なし (200m以内)		-	
	歩車道分離方法	なし		バリアリ化状況	-	DID地区	-	
	踏切保安設備	賢い踏切	-		踏切支障報知装置(手動)		-	
高規格保安設備		-		高齢者等の事故防止対策設備		-		
特性	通学路指定状況 (学校指定)	-		通学路交通安全プログラム		○		
	バリアフリー法に基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上重要物流道路上		-		
自動車交通量 (台/日)	75		歩行者等交通量 (人/日)	132	鉄道交通量 (本/日)	100		

基準算定データ							R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	7	前後歩道との幅員差(m)	0.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題 踏切幅員が2.74mと狭小で歩道が未整備であり、歩行者等の安全な通行に支障をきたしている
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	105	AとBの和	290		踏切事故	0	0	
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	185				道路交通事故	0	0	

カルテ踏切の基準						R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭陰踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切
-	-	-	-	-	-	-

法指定の状況					R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準 (踏切道改良促進法施行規則)				
R4. 1. 21 (現法)	第2条第12号 (地域課題踏切)	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	検討中	-	-	-	-	
	対策内容					
	-					
	事業完了年度	対策の効果等				
	除却年度	-				

踏切道安全通行カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	こくりょう	所在地	兵庫県丹波市春日町黒井村地内		
踏切道名	国領	道路名	市道春日栗柄線	道路管理者名	丹波市
		鉄道路線名	福知山線	鉄道事業者名	西日本旅客鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
 <p>国土地理院電子国土web</p>	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	9.3		左道路	0.0	6.0	0.0	
	横断本数(本)	1		踏切道	0.0	6.0	0.0	
	交差角(度)	45		右道路	0.0	6.0	0.0	
	道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	曲線		自動車	両方共なし	-	
	交通規制	交通規制なし		歩行者	迂回路なし (200m以内)	-		
	車両進入防護柵等	設置していない		バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-		
	歩車道分離方法	なし		バリアリ化状況	-	DID地区	-	
	踏切保安設備	賢い踏切	-		踏切支障報知装置(手動)	○		
高規格保安設備		オーバーハング型警報装置、障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故防止対策設備	-			
特性	通学路指定状況(学校指定)	○		通学路交通安全プログラム	○			
	バリアフリー法に基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上重要物流道路上	-			
自動車交通量(台/日)	2,018		歩行者等交通量(人/日)	615	鉄道交通量(本/日)	72		

基準算定データ							R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	7	前後歩道との幅員差(m)	0.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題 通学路指定がされており歩道整備が必要
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	3,229	AとBの和	4,213		踏切事故	0	0	
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	984				道路交通事故	0	0	

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭陰踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	○	-	-	

法指定の状況						R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準 (踏切道改良促進法施行規則)					
R4. 1. 21 (現法)	第2条第9号 (通学路要対策踏切)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	検討中	-	-	-	-	
	対策内容					
	-					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-					
除却年度						
-						

踏切道安全通行カルテ

更新日：令和4年12月末

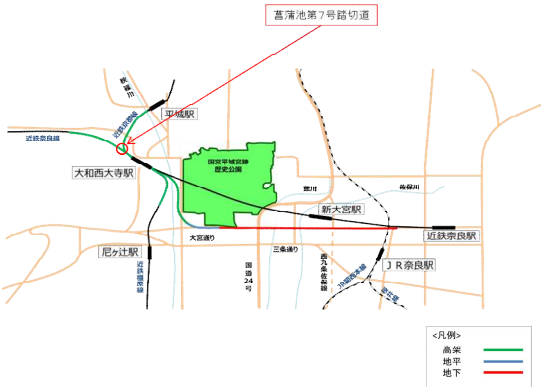
よみがな	あやめいけだい7ごう	所在地	奈良県奈良市西大寺小坊町289番地の3先		
踏切道名	菖蒲池第7号	道路名	市道中部第694号線	道路管理者名	奈良市
		鉄道路線名	奈良線	鉄道事業者名	近畿日本鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
 	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	9.1		左道路	0.0	2.8	0.0	
	横断本数(本)	2		踏切道	0.0	3.1	0.0	
	交差角(度)	69		右道路	0.0	3.1	0.0	
	道路線形	左道路	曲線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	曲線		自動車	両方共なし	-	
	交通規制	二輪自動車、農耕用車両、軽自動車以外の自動車の通行禁止		歩行者	地下道	122		
	車両進入防護柵等	設置していない		バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-		
	歩車道分離方法	なし		バリアリ化 状況	-	DID地区	○	
	踏切 保安 設備	賢い踏切	○		踏切支障報知 装置(手動)	○		
高規格保安設備		-		高齢者等の事故 防止対策設備	-			
特性	通学路指定状況 (学校指定)	-		通学路交通安全 プログラム	-			
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上 重要物流道路上	-			
自動車交通量 (台/日)	0		歩行者等交通量 (人/日)	438	鉄道交通量 (本/日)	493		

基準算定データ							R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	40	前後歩道との 幅員差(m)	0.0	踏切内の 事故発生 状況	事故別	件数	死者数	地域 課題 ・遮断時間が長く、過去に直前横断で事故が発生している。 ・付近に老人福祉施設等があり、高齢者等の通行の安全を確保する必要がある
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	0	AとBの和	4,555		踏切事故	1	0	
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	4,555				道路交通事故	0	0	

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭陰踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
○	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準 (踏切道改良促進法施行規則)					
R4.1.21 (現法)	第2条第3号 (開かずの踏切)	第2条第10号 (高齢者等対策踏切)	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	検討中	○	-	-	-	
	対策内容					
	<ul style="list-style-type: none"> 連続立体交差 全方位型踏切警報灯設置 (R3) 					
	事業完了年度	対策の効果等				
-						
除却年度	-					
-						

踏切道安全通行カルテ

更新日：令和4年12月末


よみがな	さいだいじだい4ごう	所在地	奈良県奈良市北新町78番地の2先		
踏切道名	西大寺第4号	道路名	市道北部第500号線	道路管理者名	奈良市
		鉄道路線名	奈良線	鉄道事業者名	近畿日本鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等				R3年9月末時点		
	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	8.7		左道路	5.0	7.0	5.0	
	横断本数(本)	2		踏切道	3.0	7.0	3.0	
	交差角(度)	80	右道路	5.0	7.0	5.0		
	道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	直線		自動車	起点寄有り	775	
	交通規制	交通規制なし			歩行者	迂回路なし (200m以内)	-	
	車両進入防護柵等	設置していない			バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-	
	歩車道分離方法	その他		バリアリ化状況	-	DID地区	○	
	踏切保安設備	賢い踏切	○		踏切支障報知装置(手動)	○		
高規格保安設備		障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故防止対策設備	-			
特性	通学路指定状況(学校指定)	-		通学路交通安全プログラム	-			
	バリアフリー法に基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上重要物流道路上	-			
自動車交通量(台/日)	8,437		歩行者等交通量(人/日)	2,483	鉄道交通量(本/日)	488		

基準算定データ							R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	32	前後歩道との幅員差(m)	-2.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題 ・付近に老人福祉施設等があり、高齢者等の通行の安全を確保する必要がある
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	69,183	AとBの和	89,544		踏切事故	0	0	
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	20,361				道路交通事故	0	0	

カルテ踏切の基準						R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭陰踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切
-	○	○	-	-	-	-

法指定の状況					R4年12月末時点	
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R4.1.21(現法)	第2条第1号(自動車ボトルネック踏切)	第2条第2号(歩行者ボトルネック踏切)	第2条第10号(高齢者等対策踏切)	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	検討中	○	-	-	-	
	対策内容					
	・連続立体交差					
	事業完了年度	対策の効果等				
-	-					
除却年度	-					
-	-					

踏切道安全通行カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	ごいどうだい1ごう	所在地	奈良県香芝市瓦口21番地の6先		
踏切道名	五位堂第1号	道路名	市道10-13号線	道路管理者名	香芝市
		鉄道路線名	大阪線	鉄道事業者名	近畿日本鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等				R3年9月末時点		
 <p>国土地理院電子国土web</p>	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長 (m)	17		左道路	0.0	7.0	0.0	
	横断本数 (本)	4		踏切道	2.0	7.0	0.0	
	交差角 (度)	57	右道路	2.5	7.0	0.0		
	道路線形	左道路	曲線	迂回路	種類	有無等	距離 (m)	
		右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
	交通規制	交通規制なし		歩行者	迂回路なし (200m以内)	-		
	車両進入防護柵等	設置していない		バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-		
	歩車道分離方法	コンクリートブロック		バリアリ化状況	-	DID地区	○	
	踏切保安設備	賢い踏切	○		踏切支障報知装置 (手動)	○		
高規格保安設備		障害物検知装置 (光式)		高齢者等の事故防止対策設備	-			
特性	通学路指定状況 (学校指定)	非公表		通学路交通安全プログラム	-			
	バリアフリー法に基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上重要物流道路上	-			
自動車交通量 (台/日)	7,116		歩行者等交通量 (人/日)	1,006	鉄道交通量 (本/日)	415		

基準算定データ							R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間 (分)	30	前後歩道との幅員差 (m)	2.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題 ・付近に老人福祉施設等があり、高齢者等の通行の安全を確保する必要がある
A. 踏切自動車交通遮断量 (台・時)	51,947	AとBの和	59,291		踏切事故	0	0	
B. 踏切歩行者等交通遮断量 (人・時)	7,344				道路交通事故	0	0	

カルテ踏切の基準						R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切
-	○	-	-	-	-	-

法指定の状況					R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準 (踏切道改良促進法施行規則)				
R4. 1. 21 (現法)	第2条第1号 (自動車ボトルネック踏切)	第2条第10号 (高齢者等対策踏切)	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	検討中	-	-	-	-	
	対策内容					
	<ul style="list-style-type: none"> 規制看板の設置 (R3) 代替路線の整備 (R8以降予定) 					
	事業完了年度	対策の効果等				
-	-					
除却年度						
-						

地域課題踏切カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	はつしば1ごう	所在地	大阪府堺市東区日置荘西町2丁1-6先		
踏切道名	初芝1号	道路名	市道西鳳東線	道路管理者名	堺市
		鉄道路線名	高野線	鉄道事業者名	南海電気鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
<p>詳細 初芝駅 日置荘西町四派 広域 日置荘西町一 日置荘西町二 日置荘西町三 日置荘西町四 日置荘西町五 日置荘西町六 日置荘西町七 日置荘西町八 日置荘西町九 日置荘西町十 日置荘西町十一 日置荘西町十二 日置荘西町十三 日置荘西町十四 日置荘西町十五 日置荘西町十六 日置荘西町十七 日置荘西町十八 日置荘西町十九 日置荘西町二十 日置荘西町二十一 日置荘西町二十二 日置荘西町二十三 日置荘西町二十四 日置荘西町二十五 日置荘西町二十六 日置荘西町二十七 日置荘西町二十八 日置荘西町二十九 日置荘西町三十 日置荘西町三十一 日置荘西町三十二 日置荘西町三十三 日置荘西町三十四 日置荘西町三十五 日置荘西町三十六 日置荘西町三十七 日置荘西町三十八 日置荘西町三十九 日置荘西町四十 日置荘西町四十一 日置荘西町四十二 日置荘西町四十三 日置荘西町四十四 日置荘西町四十五 日置荘西町四十六 日置荘西町四十七 日置荘西町四十八 日置荘西町四十九 日置荘西町五十 日置荘西町五十一 日置荘西町五十二 日置荘西町五十三 日置荘西町五十四 日置荘西町五十五 日置荘西町五十六 日置荘西町五十七 日置荘西町五十八 日置荘西町五十九 日置荘西町六十 日置荘西町六十一 日置荘西町六十二 日置荘西町六十三 日置荘西町六十四 日置荘西町六十五 日置荘西町六十六 日置荘西町六十七 日置荘西町六十八 日置荘西町六十九 日置荘西町七十 日置荘西町七十一 日置荘西町七十二 日置荘西町七十三 日置荘西町七十四 日置荘西町七十五 日置荘西町七十六 日置荘西町七十七 日置荘西町七十八 日置荘西町七十九 日置荘西町八十 日置荘西町八十一 日置荘西町八十二 日置荘西町八十三 日置荘西町八十四 日置荘西町八十五 日置荘西町八十六 日置荘西町八十七 日置荘西町八十八 日置荘西町八十九 日置荘西町九十 日置荘西町九十一 日置荘西町九十二 日置荘西町九十三 日置荘西町九十四 日置荘西町九十五 日置荘西町九十六 日置荘西町九十七 日置荘西町九十八 日置荘西町九十九 日置荘西町百</p> <p>国土地理院電子国土web</p>	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	8.5		左道路	2.5	6.0	0.0	
	横断本数(本)	2		踏切道	2.5	6.0	2.5	
	交差角(度)	84	右道路	1.5	6.0	1.0		
	道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
	交通規制	交通規制なし			歩行者	地下道	143	
	車両進入防護柵等	-		バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-		
	歩車道分離方法	白線・黄線		バリアリ化 状況	-	DID地区	○	
	踏切 保安 設備	賢い踏切	○		踏切支障報知 装置(手動)	○		
高規格保安設備		障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故 防止対策設備	-			
特性	通学路指定状況 (学校指定)	-		通学路交通安全 プログラム	-			
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上 重要物流道路上	-			
自動車交通量 (台/日)	8,768		歩行者等交通量 (人/日)	2,865	鉄道交通量 (本/日)	331		

基準算定データ							R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	23	前後歩道との 幅員差(m)	2.5	踏切内の 事故発生 状況	事故別	件数	死者数	地域 課題 自動車交通量が多く、踏切自動車交通遮断量が 50,000(台・時)付近を推移し、車両の円滑な通 行に支障をきたしている
A. 踏切自動車交通遮断 量(台・時)	43,841	AとBの和	58,166		踏切 事故	0	0	
B. 踏切歩行者等交通遮 断量(人・時)	14,325				道路交 通事故	0	0	

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭陰踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況					R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)				
R4.12.16(現法)	第2条第12号 (地域課題踏切)	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	検討中	-	R4	-	-	
	対策内容					
	-					
	事業完了年度	対策の効果等				
-						
除却年度						
-						

地域課題踏切カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	うみづか1ごう	所在地	大阪府貝塚市		
踏切道名	海塚1号	道路名	市道小瀬神前線	道路管理者名	貝塚市
		鉄道路線名	水間線	鉄道事業者名	水間鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	5.3		左道路	0.0	6.9	0.0	
	横断本数(本)	1		踏切道	0.0	6.2	0.0	
	交差角(度)	90	右道路	0.0	6.9	0.0		
	道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
	交通規制	大型車の通行禁止		歩行者	迂回路なし (200m以内)	-		
	車両進入防護柵等	-		バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-		
	歩車道分離方法	なし		バリアリ化状況	-	DID地区	○	
	踏切保安設備	賢い踏切	-		踏切支障報知装置(手動)	-		
高規格保安設備		オーバークラップ型警報装置		高齢者等の事故防止対策設備	-			
特性	通学路指定状況 (学校指定)	○		通学路交通安全プログラム	-			
	バリアフリー法に基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上重要物流道路上	-			
自動車交通量 (台/日)	7,079		歩行者等交通量 (人/日)	1,166	鉄道交通量 (本/日)	90/平日 76/土休日		

基準算定データ							R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	5	前後歩道との幅員差(m)	0.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題 付近に老人福祉施設等があり、高齢者等の通行の安全を確保する必要がある
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	9,911	AとBの和	11,543		踏切事故	0	0	
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	1,632				道路交通事故	0	0	

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭隘踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準 (踏切道改良促進法施行規則)					
R4.12.16 (現法)	第2条第10号 (高齢者等対策踏切)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	検討中	-	-	-	-	
	対策内容					
	-					
	事業完了年度	対策の効果等				
	除却年度	-				

地域課題踏切カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	うみづか3ごう	所在地	大阪府貝塚市		
踏切道名	海塚3号	道路名	市道鳥羽島中線	道路管理者名	貝塚市
		鉄道路線名	水間線	鉄道事業者名	水間鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	5.2		左道路	2.5	11.0	2.5	
	横断本数(本)	1		踏切道	2.5	11.0	2.5	
	交差角(度)	85	右道路	2.5	11.0	2.5		
	道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
	交通規制	交通規制なし		歩行者	迂回路なし (200m以内)	-		
	車両進入防護柵等	-		バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-		
	歩車道分離方法	なし		バリアリ化 状況	-	DID地区	○	
	踏切 保安 設備	賢い踏切	○		踏切支障報知 装置(手動)	-		
高規格保安設備		オーバーハング型警報装置		高齢者等の事故 防止対策設備	-			
特性	通学路指定状況 (学校指定)	-		通学路交通安全 プログラム	-			
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上 重要物流道路上	-			
自動車交通量 (台/日)	7,466		歩行者等交通量 (人/日)	1,422	鉄道交通量 (本/日)	90/平日 76/土休日		

基準算定データ							R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	5	前後歩道との 幅員差(m)	0.0	踏切内の 事故発生 状況	事故別	件数	死者数	地域 課題 付近に老人福祉施設等があり、高齢者等の通行の 安全を確保する必要がある
A. 踏切自動車交通遮断 量(台・時)	9,706	AとBの和	11,555		踏切 事故	0	0	
B. 踏切歩行者等交通遮 断量(人・時)	1,849				道路交 通事故	0	0	

カルテ踏切の基準						R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭隘踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切
-	-	-	-	-	-	-

法指定の状況					R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準 (踏切道改良促進法施行規則)				
R4.12.16 (現法)	第2条第10号 (高齢者等対策踏切)	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	検討中	-	-	-	-	
	対策内容					
	-					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-					
除却年度	-					
-						

地域課題踏切カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	うみづか9ごう	所在地	大阪府貝塚市		
踏切道名	海塚9号	道路名	府道大阪和泉泉南線	道路管理者名	大阪府
		鉄道路線名	水間線	鉄道事業者名	水間鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長 (m)	5.5		左道路	0.0	9.5	0.0	
	横断本数 (本)	1		踏切道	1.5	6.5	1.5	
	交差角 (度)	80		右道路	1.5	6.5	1.5	
	道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離 (m)	
		右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
	交通規制	交通規制なし			歩行者	迂回路なし (200m以内)	-	
	車両進入防護柵等	-			バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-	
	歩車道分離方法	なし		バリアリ化状況	-	DID地区	○	
	踏切保安設備	賢い踏切	-		踏切支障報知装置 (手動)	-		
高規格保安設備		障害物検知装置 (光式)		高齢者等の事故防止対策設備	-			
特性	通学路指定状況 (学校指定)	-		通学路交通安全プログラム	-			
	バリアフリー法に基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上重要物流道路上	-			
自動車交通量 (台/日)	13,932	歩行者等交通量 (人/日)	1,063	鉄道交通量 (本/日)	90/平日 76/土休日			

基準算定データ							R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間 (分)	5	前後歩道との幅員差 (m)	1.5	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題 付近に老人福祉施設等があり、高齢者等の通行の安全を確保する必要がある
A. 踏切自動車交通遮断量 (台・時)	18,112	AとBの和	19,494		踏切事故	0	0	
B. 踏切歩行者等交通遮断量 (人・時)	1,382				道路交通事故	0	0	

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭隘踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況					R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準 (踏切道改良促進法施行規則)				
R4.12.16 (現法)	第2条第10号 (高齢者等対策踏切)	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	検討中	-	-	-	-	
	対策内容					
	・踏切接続道路の「視覚障害者誘導用ブロック」設置 (R4)					
	事業完了年度	対策の効果等				
-						
除却年度						
-						

地域課題踏切カルテ

更新日：令和4年12月末

よみか	いざい2ごう	所在地	大阪府貝塚市		
踏切道名	石才2号	道路名	府道岸和田牛滝山貝塚線	道路管理者名	大阪府
		鉄道路線名	水間線	鉄道事業者名	水間鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長 (m)	7.5		左道路	2.0	7.0	2.0	
	横断本数 (本)	1		踏切道	2.0	7.0	2.0	
	交差角 (度)	90	右道路	2.0	7.0	2.0		
	道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離 (m)	
		右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
	交通規制	交通規制なし		歩行者	迂回路なし (200m以内)	-		
	車両進入防護柵等	-		バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-		
	歩車道分離方法	白線・黄線		バリアリ化状況	-	DID地区	○	
	踏切保安設備	賢い踏切	○		踏切支障報知装置 (手動)	-		
高規格保安設備		障害物検知装置 (光式)		高齢者等の事故防止対策設備	-			
特性	通学路指定状況 (学校指定)	-		通学路交通安全プログラム	-			
	バリアフリー法に基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上重要物流道路上	-			
自動車交通量 (台/日)	2,585		歩行者等交通量 (人/日)	1,619	鉄道交通量 (本/日)	90/平日 76/土休日		

基準算定データ							R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間 (分)	6	前後歩道との幅員差 (m)	0.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題 付近に老人福祉施設等があり、高齢者等の通行の安全を確保する必要がある
A. 踏切自動車交通遮断量 (台・時)	3,878	AとBの和	6,307		踏切事故	0	0	
B. 踏切歩行者等交通遮断量 (人・時)	2,429				道路交通事故	0	0	

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭陰踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準 (踏切道改良促進法施行規則)					
R4.12.16 (現法)	第2条第10号 (高齢者等対策踏切)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	検討中	-	-	-	-	
	対策内容					
	・踏切接続道路の「視覚障害者誘導用ブロック」設置 (R4)					
	事業完了年度	対策の効果等				
-						
除却年度						
-						

地域課題踏切カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	なごせ2ごう	所在地	大阪府貝塚市		
踏切道名	名越2号	道路名	市道名越千石荘線	道路管理者名	貝塚市
		鉄道路線名	水間線	鉄道事業者名	水間鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
 	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	4.5		左道路	2.5	6.5	0.0	
	横断本数(本)	1		踏切道	2.5	6.5	0.0	
	交差角(度)	60	右道路	2.5	6.5	0.0		
	道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
	交通規制	その他の交通規制		歩行者	迂回路なし (200m以内)	-		
	車両進入防護柵等	-		バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-		
	歩車道分離方法	白線・黄線		バリアリ化 状況	-	DID地区	○	
	踏切 保安 設備	賢い踏切	-		踏切支障報知 装置(手動)	-		
高規格保安設備		障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故 防止対策設備	-			
特性	通学路指定状況 (学校指定)	-		通学路交通安全 プログラム	-			
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上 重要物流道路上	-			
自動車交通量 (台/日)	9,931		歩行者等交通量 (人/日)	320	鉄道交通量 (本/日)	90/平日 76/土休日		

基準算定データ							R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	5	前後歩道との 幅員差(m)	0.0	踏切内の 事故発生 状況	事故別	件数	死者数	地域 課題 付近に老人福祉施設等があり、高齢者等の通行の 安全を確保する必要がある
A. 踏切自動車交通遮断 量(台・時)	12,910	AとBの和	13,326		踏切 事故	1	0	
B. 踏切歩行者等交通遮 断量(人・時)	416				道路交 通事故	0	0	

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭隘踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況					R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)				
R4.12.16(現法)	第2条第10号 (高齢者等対策踏切)	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	検討中	-	-	-	-	
	対策内容					
	-					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-					
除却年度						
-						

地域課題踏切カルテ

更新日：令和4年12月末


よみがな	はこつくり18ごう	所在地	大阪府泉南郡岬町淡輪912-3先		
踏切道名	箱作18号	道路名	府道淡輪停車場線	道路管理者名	大阪府
		鉄道路線名	南海本線	鉄道事業者名	南海電気鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	9.1		左道路	0.0	6.0	0.0	
	横断本数(本)	2		踏切道	0.0	6.0	0.0	
	交差角(度)	75		右道路	0.0	6.0	0.0	
	道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	直線		自動車	起点寄有り	79	
	交通規制	交通規制なし		歩行者	こ線橋	79		
	車両進入防護柵等	設置していない		バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-		
	歩車道分離方法	なし		バリアリ化 状況	-	DID地区	○	
	踏切 保安 設備	賢い踏切	○		踏切支障報知 装置(手動)	○		
		高規格保安設備	障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故 防止対策設備	-		
	特性	通学路指定状況 (学校指定)	○		通学路交通安全 プログラム	○		
バリアフリー法に 基づく特定道路上		-		緊急輸送道路上 重要物流道路上	-			
自動車交通量 (台/日)	3,892		歩行者等交通量 (人/日)	1,424	鉄道交通量 (本/日)	272		

基準算定データ							R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	13	前後歩道との 幅員差(m)	0.0	踏切内の 事故発生 状況	事故別	件数	死者数	地域 課題 鉄道付近にある小学校の通学路に指定されてお り、多くの児童が踏切を横断しているが、歩道が なく、自動車や自転車と輻輳し、危険な状態であ る。
A. 踏切自動車交通遮断 量(台・時)	12,454	AとBの和	17,011		踏切 事故	0	0	
B. 踏切歩行者等交通遮 断量(人・時)	4,557				道路交 通事故	0	0	

カルテ踏切の基準						R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭危険踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切
-	-	-	-	-	-	-

法指定の状況					R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)				
R3.4.13(現法)	第2条第10号 (高齢者等対策踏切) R3.4.13(現法)	第2条第12号 (地域課題踏切) R4.12.16(現法)	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	事業中	-	-	R3	-	
	対策内容					
	構造改良(踏切拡幅)					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-	-				
除却年度	-					
-	-					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和4年12月末

よみか	いわや	所在地	兵庫県神戸市灘区		
踏切道名	岩屋	道路名	市道岩屋南10号線	道路管理者名	神戸市
		鉄道路線名	本線	鉄道事業者名	阪神電気鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
 <p>位置図・現況写真</p> <p>写真①</p> <p>写真②</p> <p>国土地理院電子国土web</p>	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	8.5		左道路	-	-	-	
	横断本数(本)	2		踏切道	0.0	3.3	0.0	
	交差角(度)	80	右道路	-	-	-	-	
	道路線形	左道路	-	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	-		自動車	両方共なし	-	
	交通規制	大型車の通行禁止	歩行者		その他	120		
	車両進入防護柵等	-	バリアリ化		迂回路なし (200m以内)	-		
	歩車道分離方法	なし	バリアリ化 状況		-	DID地区	-	
	踏切 保安 設備	賢い踏切	○		踏切支障報知 装置(手動)	○		
高規格保安設備		障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故 防止対策設備	-			
特性	通学路指定状況 (学校指定)	-		通学路交通安全 プログラム	-			
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上 重要物流道路上	-			
自動車交通量 (台/日)	280	歩行者等交通量 (人/日)	709	鉄道交通量 (本/日)	524			

基準算定データ							R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	39	前後歩道との 幅員差(m)	0.0	踏切内の 事故発生 状況	事故別	件数	死者数	地域 課題 付近に老人福祉施設等があり、高齢者等の通行の 安全を確保する必要がある
A. 踏切自動車交通遮断 量(台・時)	2,436	AとBの和	8,604		踏切 事故	0	0	
B. 踏切歩行者等交通遮 断量(人・時)	6,168				道路交 通事故	0	0	

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭隘踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況					R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)				
R4.12.16(現法)	第2条第10号 (高齢者等対策踏切)	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	検討中	-	-	-	-	
	対策内容					
	-					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-					
除却年度	-					
-						

踏切道安全通行カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	しんしものだ	所在地	兵庫県姫路市飾磨区下野田三味下524-2		
踏切道名	新下野田	道路名	市道幹第6号線	道路管理者名	姫路市
		鉄道路線名	本線	鉄道事業者名	山陽電気鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
 	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	9.3		左道路	4.8	12.0	15.4	
	横断本数(本)	2		踏切道	2.5	13.5	2.5	
	交差角(度)	90	右道路	4.3	12.0	15.6		
	道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
	交通規制	交通規制なし		歩行者	迂回路なし (200m以内)	-		
	車両進入防護柵等	設置していない		バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-		
	歩車道分離方法	白線・黄線		バリアリ化 状況	-	DID地区	○	
	踏切 保安 設備	賢い踏切	○		踏切支障報知 装置(手動)	○		
高規格保安設備		オーバーハング型警報装置、 障害物検知装置(光式)、大型 遮断装置		高齢者等の事故 防止対策設備	接続軌道化			
特性	通学路指定状況 (学校指定)	-		通学路交通安全 プログラム	-			
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	○(対応済)		緊急輸送道路上 重要物流道路上	-			
自動車交通量 (台/日)	16,768	歩行者等交通量 (人/日)	1,363	鉄道交通量 (本/日)	340			

基準算定データ							R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	24	前後歩道との 幅員差(m)	-13.1	踏切内の 事故発生 状況	事故別	件数	死者数	地域 課題 凹凸のある誘導表示等が設置されておらず、視覚 障害者の通行の安全を確保する必要がある
A. 踏切自動車交通遮断 量(台・時)	105,638	AとBの和	114,225		踏切 事故	0	0	
B. 踏切歩行者等交通遮 断量(人・時)	8,587				道路交 通事故	0	0	

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切	
-	○	-	-	-	-	-	

法指定の状況					R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)				
H29.1.27(旧法)	第2条第1号 (自動車ボトルネック踏切) H29.1.27(旧法)	第2条第12号 (地域課題踏切) R4.12.16(現法)	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	検討中	-	R2	H29	-	
	対策内容					
	<ul style="list-style-type: none"> 周辺道路整備(検討中) 注意喚起看板設置(H27) 路面標示設置(H31) 区画線の引き直し(H28) 踏切内車道明示(H28) 踏切明示の強化(H27) 					
	事業完了年度	対策の効果等				
-						
除却年度						
-						

踏切道安全通行カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	うちでえき	所在地	兵庫県芦屋市打出小槌町20-2		
踏切道名	打出駅	道路名	市道146号線	道路管理者名	芦屋市
		鉄道路線名	本線	鉄道事業者名	阪神電気鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
<p>詳細 打出小槌町</p> <p>広域</p> <p>国土地理院電子国土web</p>	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	8.2		左道路	0.0	6.4	0.0	
	横断本数(本)	2		踏切道	0.0	4.9	0.0	
	交差角(度)	90	右道路	0.0	4.0	1.9		
	道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
	交通規制	大型車の通行禁止		歩行者	地下道	18		
	車両進入防護柵等	設置していない		バリアリ化	迂回路なし (200m以内)		-	
	歩車道分離方法	なし		バリアリ化 状況	-	DID地区	○	
	踏切 保安 設備	賢い踏切	○		踏切支障報知 装置(手動)	○		
高規格保安設備		障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故 防止対策設備	段差解消による平滑化			
特性	通学路指定状況 (学校指定)	-		通学路交通安全 プログラム	-			
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上 重要物流道路上	-			
自動車交通量 (台/日)	57		歩行者等交通量 (人/日)	10,317	鉄道交通量 (本/日)	524		

基準算定データ							R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	34	前後歩道との 幅員差(m)	-1.9	踏切内の 事故発生 状況	事故別	件数	死者数	地域 課題
A. 踏切自動車交通遮断 量(台・時)	462	AとBの和	84,029		踏切 事故	0	0	
B. 踏切歩行者等交通遮断 量(人・時)	83,568				道路交 通事故	0	0	

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点	
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切		
-	-	○	-	-	-	-		

法指定の状況					R4年12月末時点	
法指定年月日	指定に係る基準 (踏切道改良促進法施行規則)					
R4.12.16 (現法)	第2条第10号 (高齢者等対策踏切)	-	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	指定前	-	-	-	-	
	対策内容					
	-					
	事業完了年度	対策の効果等				
-						
除却年度						
-						

踏切道安全通行カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	みなみばば	所在地	奈良県香芝市下田西1丁目100-2		
踏切道名	南馬場	道路名	国道165号	道路管理者名	国土交通省
		鉄道路線名	和歌山線	鉄道事業者名	西日本旅客鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等				R3年9月末時点		
 <p>出典：地理院地図</p>	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	7.2		左道路	0.0	6.5	2.5	
	横断本数(本)	1		踏切道	0.0	7.0	2.5	
	交差角(度)	65		右道路	0.0	7.0	2.5	
	道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
	交通規制	交通規制なし		歩行者	迂回路なし (200m以内)	-		
	車両進入防護柵等	設置していない		バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-		
	歩車道分離方法	コンクリートブロック		バリアリ化 状況	-	DID地区	○	
	踏切 保安 設備	賢い踏切	-		踏切支障報知 装置(手動)	○		
高規格保安設備		障害物検知装置(3次元レーザ 方式)		高齢者等の事故 防止対策設備	接続軌道化			
特性	通学路指定状況 (学校指定)	-		通学路交通安全 プログラム	-			
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	○		緊急輸送道路上 重要物流道路上	-			
自動車交通量 (台/日)	16,775	歩行者等交通量 (人/日)	127	鉄道交通量 (本/日)	96			

基準算定データ							R3年9月末時点		
ピーク時遮断時間(分)	11	前後歩道との 幅員差(m)	0.0	踏切内の 事故発生 状況	事故別	件数	死者数	地域 課題	
A. 踏切自動車交通遮断 量(台・時)	38,583	AとBの和	38,875		踏切 事故	0	0		-
B. 踏切歩行者等交通遮 断量(人・時)	292				道路交 通事故	0	0		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	○	

法指定の状況					R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準（踏切道改良促進法施行規則）				
R4.12.16（現法）	第2条第11号 (移動等円滑化要対策踏切)	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	検討中	-	-	-	-	
	対策内容					
	-					
	事業完了年度	対策の効果等				
-	-					
除却年度						
-						

踏切道安全通行カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	にじょうだいごう	所在地	奈良県香芝市下田西2丁目1379番地の5先		
踏切道名	二上第9号	道路名	国道165号	道路管理者名	国土交通省
		鉄道路線名	大阪線	鉄道事業者名	近畿日本鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等				R3年9月末時点			
	踏切種別	第1種		幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	13.7			左道路	0.0	5.3	2.0	
	横断本数(本)	2			踏切道	2.0	7.9	2.0	
	交差角(度)	40			右道路	2.5	5.2	2.0	
	道路線形	左道路	曲線		迂回路	種類	有無等		距離(m)
		右道路	直線			自動車	両方共なし		-
	交通規制	交通規制なし		歩行者		迂回路なし (200m以内)		-	
	車両進入防護柵等	GR設置あり		バリアリ化		迂回路なし (200m以内)		-	
	歩車道分離方法	白線・黄線		バリアリ化状況	-	DID地区	○		
	踏切保安設備	賢い踏切	○		踏切支障報知装置(手動)	○			
高規格保安設備		障害物検知装置(その他)		高齢者等の事故防止対策設備	接続軌道化				
特性	通学路指定状況(学校指定)	-		通学路交通安全プログラム	-				
	バリアフリー法に基づく特定道路上	○		緊急輸送道路上重要物流道路上	-				
自動車交通量(台/日)	6,332		歩行者等交通量(人/日)	1,200	鉄道交通量(本/日)	414			

基準算定データ							R3年9月末時点		
ピーク時遮断時間(分)	27	前後歩道との幅員差(m)	-0.5	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	-
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	44,324	AとBの和	52,724		踏切事故	0	0		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	8,400				道路交通事故	0	0		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	○

法指定の状況					R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準 (踏切道改良促進法施行規則)				
R4.12.16 (現法)	第2条第11号 (移動等円滑化要対策踏切)	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	検討中	-	-	-	-	
	対策内容					
	-					
	事業完了年度	対策の効果等				
-						
除却年度						
-						

踏切道安全通行カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	みわかいどう	所在地	奈良県北葛城郡王寺町		
踏切道名	三輪街道	道路名	桜井田原本王寺線	道路管理者名	奈良県
		鉄道路線名	和歌山線	鉄道事業者名	西日本旅客鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
 	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	6		左道路	0.0	6.3	0.0	
	横断本数(本)	1		踏切道	0.0	7.7	0.0	
	交差角(度)	74	右道路	0.0	7.1	0.0		
	道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
	交通規制	交通規制なし		歩行者	迂回路なし (200m以内)	-		
	車両進入防護柵等	設置していない		バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-		
	歩車道分離方法	なし		バリアリ化 状況	-	DID地区	○	
	踏切 保安 設備	賢い踏切	-		踏切支障報知 装置(手動)	○		
高規格保安設備		障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故 防止対策設備	-			
特性	通学路指定状況 (学校指定)	○		通学路交通安全 プログラム	○			
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上 重要物流道路上	緊2次			
自動車交通量 (台/日)	11,573	歩行者等交通量 (人/日)	521	鉄道交通量 (本/日)	96			

基準算定データ							R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	11	前後歩道との 幅員差(m)	0.0	踏切内の 事故発生 状況	事故別	件数	死者数	地域 課題 当該踏切は近隣に小学校があるため通学路指定 されており、歩行者の安全対策が必要であるが、歩 道が未整備であり、歩行者等の安全な通行に支障 をきたしている。
A. 踏切自動車交通遮断 量(台・時)	26,618	AとBの和	27,816		踏切 事故	0	0	
B. 踏切歩行者等交通遮 断量(人・時)	1,198				道路交 通事故	0	0	

カルテ踏切の基準						R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切
-	-	-	-	-	-	-

法指定の状況					R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)				
R4.12.16(現法)	第2条第12号 (地域課題踏切)	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	事業中	-	-	R4	-	
	対策内容					
	・歩道設置					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-	-				
除却年度	-					
-	-					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	なかつえ5ごう	所在地	和歌山県和歌山市		
踏切道名	中松江5号	道路名	市道松江44号線	道路管理者名	和歌山市
		鉄道路線名	加太線	鉄道事業者名	南海電気鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	5.1		左道路	0.0	2.3	0.0	
	横断本数(本)	1		踏切道	0.0	2.0	0.0	
	交差角(度)	81	右道路	0.0	5.3	0.0		
	道路線形	左道路	曲線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	曲線		自動車	両方共なし	-	
	交通規制	交通規制なし		歩行者	迂回路なし (200m以内)	-		
	車両進入防護柵等	-		バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-		
	歩車道分離方法	なし		バリアリ化 状況	-	DID地区	○	
	踏切 保安 設備	賢い踏切	-		踏切支障報知 装置(手動)		-	
高規格保安設備		-		高齢者等の事故 防止対策設備		-		
特性	通学路指定状況 (学校指定)	○		通学路交通安全 プログラム		-		
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上 重要物流道路上		-		
自動車交通量 (台/日)	-		歩行者等交通量 (人/日)	0	鉄道交通量 (本/日)	8		

基準算定データ							R3年9月末時点		
ピーク時遮断時間(分)	5	前後歩道との 幅員差(m)	0.0	踏切内の 事故発生 状況	事故別	件数	死者数	地域 課題	付近に老人福祉施設等があり、高齢者等の通行の
A. 踏切自動車交通遮断 量(台・時)	-	AとBの和	0		踏切 事故	0	0		
B. 踏切歩行者等交通遮断 量(人・時)	0				道路交 通事故	0	0		

カルテ踏切の基準						R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭隘踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切
-	-	-	-	-	-	-


法指定の状況					R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準 (踏切道改良促進法施行規則)				
R4.12.16 (現法)	第2条第10号 (高齢者等対策踏切)	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	検討中	-	-	-	-	
	対策内容					
	-					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-					
除却年度	-					
-						

地域課題踏切カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	なかつえ8ごう	所在地	和歌山県和歌山市		
踏切道名	中松江8号	道路名	市道古屋本脇線	道路管理者名	和歌山市
		鉄道路線名	加太線	鉄道事業者名	南海電気鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
 <p>国土地理院電子国土web</p>	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	4.7		左道路	0.0	5.0	0.0	
	横断本数(本)	1		踏切道	0.0	5.6	0.0	
	交差角(度)	81	右道路	0.0	6.2	0.0		
	道路線形	左道路	曲線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	曲線		自動車	両方共なし	-	
	交通規制	交通規制なし		歩行者	迂回路なし (200m以内)	-		
	車両進入防護柵等	-		バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-		
	歩車道分離方法	なし		バリアリ化 状況	-	DID地区	○	
	踏切 保安 設備	賢い踏切	-		踏切支障報知 装置(手動)	-		
高規格保安設備		-		高齢者等の事故 防止対策設備	-			
特性	通学路指定状況 (学校指定)	○		通学路交通安全 プログラム	-			
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上 重要物流道路上	-			
自動車交通量 (台/日)	-		歩行者等交通量 (人/日)	0	鉄道交通量 (本/日)	8		

基準算定データ							R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	6	前後歩道との 幅員差(m)	0.0	踏切内の 事故発生 状況	事故別	件数	死者数	地域 課題 付近に老人福祉施設等があり、高齢者等の通行の 安全を確保する必要がある
A. 踏切自動車交通遮断 量(台・時)	-	AとBの和	0		踏切 事故	0	0	
B. 踏切歩行者等交通遮 断量(人・時)	0				道路交 通事故	0	0	

カルテ踏切の基準						R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭隘踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切
-	-	-	-	-	-	-

法指定の状況					R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準 (踏切道改良促進法施行規則)				
R4.12.16 (現法)	第2条第10号 (高齢者等対策踏切)	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	検討中	-	-	-	-	
	対策内容					
	-					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-					
除却年度	-					
-						